



大河津分水 通水100周年  
The Ohkousu Diversion Channel 100th Anniversary



関屋分水 通水50周年  
The Setoya Diversion Channel 50th Anniversary

川でつながる 未来につなげる

大河津分水通水100周年・関屋分水通水50周年記念事業

# 未来につながる事業 記録誌







## 1 周年事業

1-1.事業の趣旨・目的	1
--------------	---

## 2 主な事業

2-1.大河津分水ロゴマーク決定	3
2-2.関屋分水シンボルマーク決定	5
2-3.実行委員会設立	7
2-4.スポット・愛称募集	11
2-5.分水講演会	13
2-6.OHKOUZU day	15
2-7.せきぶん誕生祭	17
2-8.大河津分水サクスフェスタ	19
2-9.せきぶん感謝祭	21
2-10.6館リレー展	23
2-11.分水サミット	25
2-12.記念シンポジウム	27

## 3 トピックス

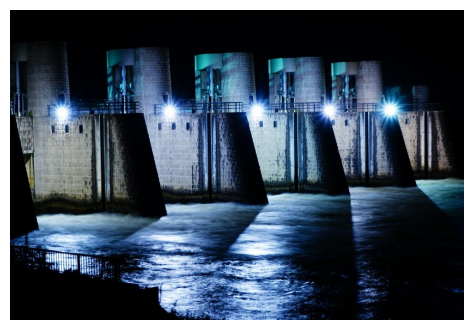
3-1.石碑磨き	29
3-2.大河津資料館100万人達成	29
3-3.合格通水石	30
3-4.100周年カウントダウン	31
3-5.50周年カウントダウン	33

## 4 未来へのメッセージ

4-1.川づくりアンケート	35
4-2.メッセージプロジェクト	41

## 5 参考

5-1.写真コンテスト	49
5-2.イベントリスト 大河津分水	52
5-3.イベントリスト 関屋分水	55
5-4.ロゴマークの使用例	56
5-5.シンボルマークの使用例	58
5-6.100周年HP	59
5-7.50周年HP	60



# 1. 周年事業

## 01

### 事業の 趣旨・目的

令和4(2022)年に大河津分水は通水100周年、関屋分水は通水50周年を迎えました。越後平野の人々の暮らしを劇的に変えるターニングポイントとなった大河津分水、県都発展の原動力となった関屋分水、2つの分水は今もなお私たちの暮らしを支えています。2つの分水がそれぞれ100周年・50周年を迎えることを踏まえ、信濃川の豊かな恵みに感謝し、先人の偉業を讃えるとともに、大河津分水・関屋分水が地域の皆様により深く理解され未来につながることを願って『大河津分水通水100周年・関屋分水通水50周年記念未来につながる事業』を行うこととしました。



大河津分水は、水害に悩む越後平野の人々にとって水害から逃れるための切札として熱望され、1700年頃から幾度となく請願が繰り返されます。人々の願いが結実し、明治40(1907)年に着工。15年の歳月と延べ1000万人の人手を費やし大正11(1922)年8月25日に通水しました。



大河津分水 通水100周年  
The Ohkoku Diversion Channel 100th Anniversary



関屋分水は、地盤沈下による浸水が目立つようになった1960年頃から、信濃川による水害から守ること、新潟港の土砂堆積を抑制することを主目的とし、昭和39(1964)年に着工。昭和47(1972)年8月10日に通水しました。



関屋分水 通水50周年  
The Sekiya Diversion Channel 50th Anniversary



大河津分水・関屋分水は水禍を乗り越えてきた先人達の想いが凝縮した場であり、大河津分水・関屋分水を知することは郷土愛やシビックプライドの醸成に大きく貢献します。その実現のために信濃川流域の多くの人々が協力してきた経緯があり、新潟における流域連携の原点でもあります。かくして信濃川とその支川・派川は生活用水や農業用水・工業用水など計り知れない恩恵を与えてくれるばかりでなく、親水空間や地域活性化など新しい可能性を秘める場ともなっています。

このように大河津分水・関屋分水は、郷土を愛し相互に連携し未来の100年を考える上で、唯一無二の存在でありこの上ないテーマであることから、分水の歴史を知ること、信濃川流域の繋がりを創出すること、未来の川づくり・地域づくりを考えることを柱として記念事業を実施しました。

## キャッチフレーズ

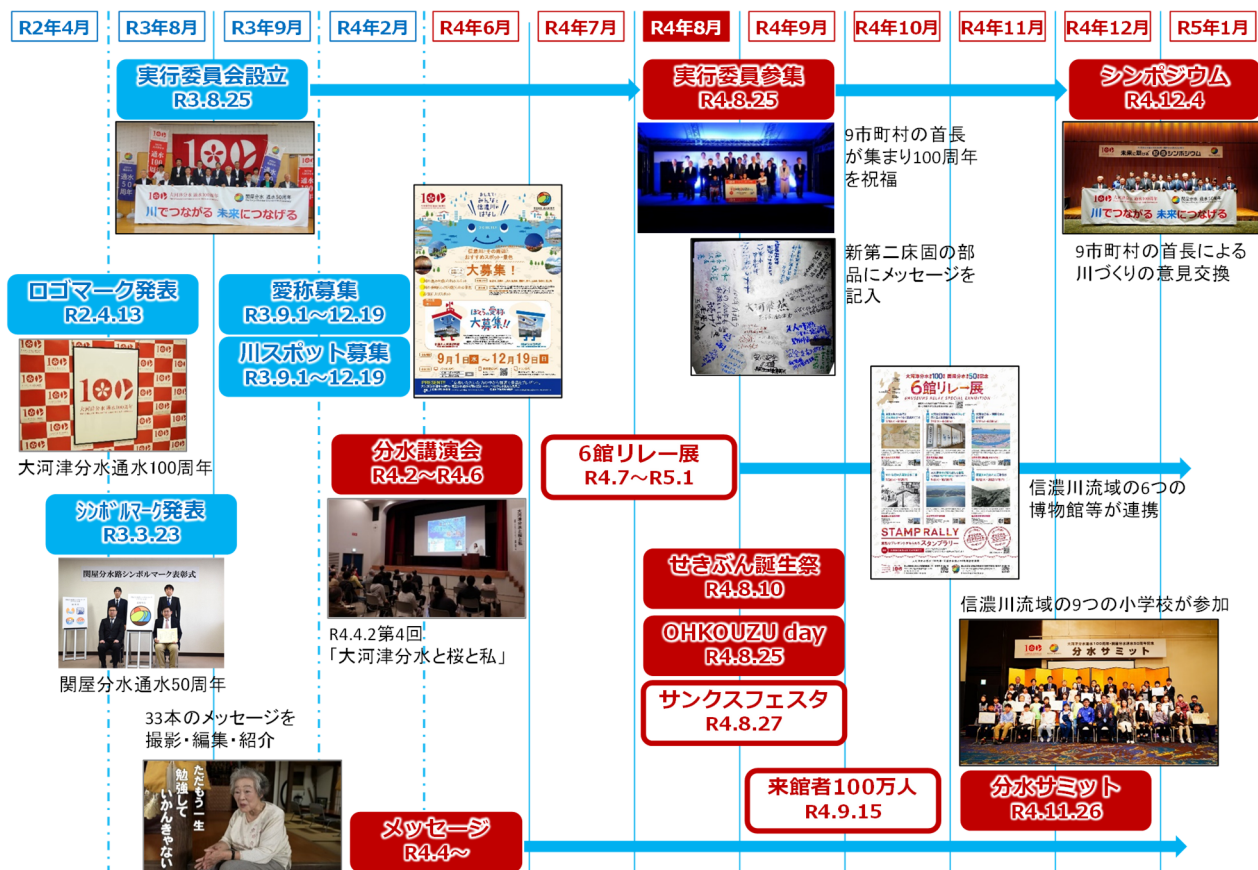
大河津分水通水100周年・関屋分水通水50周年記念 未来につながる事業

**100** 大河津分水 通水100周年  
The Ohkouzu Diversion Channel 100th Anniversary

**50** 関屋分水 通水50周年  
The Sekiya Diversion Channel 50th Anniversary

# 川でつながる 未来につなげる

## 主な事業のフロー



## 2. 主な事業

# 01 ロゴマーク 決定

大河津分水通水100周年に向けて、シンボルとなるロゴマークを検討しました。信濃川のほとりでデザインを学ばれている長岡造形大学の皆さんから3案を考案いただき、令和2(2020)年1月に信濃川沿川の市町村で投票を行いました。その結果、1700票を超える投票をいただき、最多得票を得たロゴマークに決定しました。「桜」と「分水」を掛け合わせた記念ロゴは、100周年という節目を祝うようなおめでたいイメージを大切にしつつ、誰が見ても分かりやすいデザインを意識して考えられました。



### ロゴマーク案



#### 大河津分水と信濃川の分岐点

基本カラーのピンクとターコイズに近いブルーは、住民に親しまれる大河津分水の桜の風景と川面を流れる波を表す。



#### 人を支える分水

陰ながら、しかし確実に私たちの生活を水害から守っている大河津分水。二手に分かれている水路を反転させると「人」という字になる。



#### 桜と分水の掛け合わせ

赤色は歴史ある分水の雰囲気や通水にかけた人々の熱い思い・努力をイメージ。桜は当時の人たちの手で植樹され今に残るシンボル。

### ロゴマーク投票



**大河津分水通水100周年記念ロゴマーク**  
とう ひょう うけ つけ ちゅう

# 投票受付中

私たちに豊かな暮らしをもたらしてくる大河津分水。2022(令和4)年の通水100周年にむけて「大河津分水通水100周年記念ロゴマーク」をみなさんの投票で決定いたします！

大河津分水通水100周年記念ロゴマーク

大河津分水 通水100周年

大河津分水通水100周年

**投票期間** 令和2年 1月6日(月)～1月24日(金)まで

**投票方法**

①投票用紙で投票！

1. 投票するロゴマークを決める。
2. 投票用紙裏面に記入する。
3. 投票用紙に記入する。

②WEBで投票！

1. 投票するロゴマークを決める。
2. HPから投票フォームに行く。
3. 投票フォームに記入する。

投票いただいた方の中から抽選で30名様に、決定したロゴマークを使用した「記念ステッカー(1,000円分)」をプレゼントいたします。みなさまの投票をお待ちしています。

ロゴマークは私たち長岡造形大学が考案しました。ぜひ投票をお願いします。

【大河津分水通水100周年記念ロゴマーク投票実施のお願い】  
〒370-0288 新潟県長岡市区東1-5-54 TEL 0258-57-0055 E-mail: info@ncc-nagaoka.ac.jp

信濃川沿川の市町村に投票ブースを設置。多くの皆様にご投票いただきました！



## ロゴマーク決定



赤色は歴史ある分水の雰囲気や通水にかかる人々の熱い想いや努力を表しています。また、大河津分水の桜は当時の人たちの手で植樹され、今に残るシンボルでもあるため、桜をモチーフとして選びました。

大河津分水と共に100年先も私達の安全な暮らしがずっと続いていくように…との願いを込めて0から突き抜けて、大河津分水が流れていく様子を表現しました。

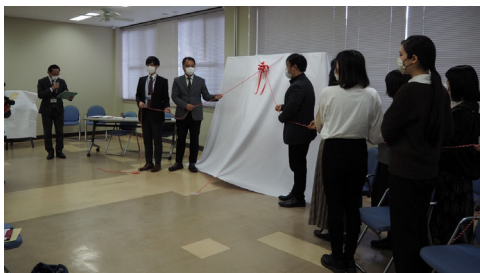
そして、現在の大河津分水が当時の人々の努力ででき上がったものであることを時代を超えて咲き続け、地域の方々に愛されている桜になぞらえて表現しました。

## ロゴマーク発表

【日 時】令和2年4月13日(月) 10:00～10:30

【会 場】国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所

【主催者】信濃川河川事務所



デザインしていただいた長岡造形大学の学生7名と金先生をお招きし、除幕をしていただきました。



制作にあたり、ロゴに込めた思いや苦労、大河津分水への想いなどをお話いただきました。



「記者発表は緊張しましたが、これからロゴマークを活用してもらえるので楽しみです」と喜びを語ってくれました。

大河津分水 通水100周年 **記念ロゴマークが決定!**

**大河津分水 通水100周年**  
The Ohkouzu Diversion Channel 100th Anniversary

**ロゴマーク**

100年前の大河津分水通水を記念して植樹された「桜」をモチーフに、「大河津分水」によって私達の安全な暮らしが100年先も続いていくようにという意味から0を突き抜けて大河津分水が流れ、歴史ある分水の雰囲気や通水にかかる人々の熱い想いや努力を赤色で表現しています。

**大河津分水**

越後平野を水害から守るためにつくられた人工の河川。100年前の工事はとても難しいもので、失敗や挫折もたくさんありましたが、多くの人たちがあきらめずに困難を乗り越え、1922年に通水しました。大河津分水によって越後平野の土地利用は一変し、今でも私たちのくらしは大河津分水に支えられています。

1896(明治29年) 横田切

1907(明治40年) 工事

1922(大正11年) 通水

現在 大河津分水と越後平野

大河津分水通水100周年を一緒に盛り上げていただくため、事業の広報など、様々な機会を通じてロゴマークをご活用ください。

※公表後、関係する場合はロゴマーク使用の多量に際した場合は別途、ご協力をお願いいたします。お問い合わせ先は、信濃川河川事務所です。

このロゴマークは、長岡造形大学の皆さんが複数考案し、地域の皆さんからの1,700票を超える投票の中で最多得票によって選ばれたものです。

**WEBSITE**  
大河津分水通水100周年ホームページはこちら

**LOGO MARK**  
大河津分水通水100周年記念ロゴマークについてはこちら

信濃川河川事務所  
〒950-0038 新潟県新潟市東区 794-0238 FAX 0256-91-2196

# 02 シンボル マーク決定

信濃川下流域のシンボルとしてより多くの人に知ってもらうため、関屋分水路通水50年の節目の年に関屋分水のシンボルマークを募集したところ、273件の応募がありました。これについて、「関屋分水通水50周年記念事業 準備委員会」委員及び「学校法人国際総合学園新潟デザイン専門学校」の副校長をアドバイザーにお招きして、厳正な審査を行いました。令和3(2021)年3月23日、頂いた応募作品の中から最優秀賞1作品、優秀賞4作品が決定し、表彰式を開催しました。



## シンボルマーク選考結果

学校法人国際総合学園新潟デザイン専門学校の副校長には、選定されたデザインの講評をいただきました。

### 最優秀賞

	<p>【コンセプト】 日本海に沈む夕日（橙）にむかって、広くおおきな越後平野（緑）に流れる信濃川（濃青）。 信濃川から分岐して日本海に流れこむ関屋分水路（薄青）。 そして、関屋分水によって整備された新潟の都市基盤（茶色）。をイメージして作成。</p> <p>【講 評】 作者のコンセプトにもあるように、新潟のシンボルでもある夕日と緑の大地、街を流れる信濃川に分岐した水路…と、関屋分水の情景が浮かんでくるようなシンボルマークデザイン。美しい曲線で水の流れが、そして、大きな流れ・分岐した水路の流れもわずかな幅の変化で表現されている。円形のデザインも、関屋分水路が新潟市域を守り、安らぎをあたえる存在であることが表現されている。</p>
--	---

### 優秀賞

	<p>【講評】 イラスト風で、親しみの持てるデザイン。信濃川下流区間にある「やすらぎ堤」へつながっていく関屋分水の役割が見えるように感じる。</p>
	<p>【講評】 動きのある表現で、地域の活気や歴史、自然と人間のつながりも感じる。背景に浮き出る「信濃川と関屋分水水路のS」の表現にメッセージ性がある。</p>

## シンボルマーク決定・発表

水辺からやすらぎを、まちへ、ひとへ。  
しなのがわりゅう

国土交通省 北陸地方整備局 信濃川下流河川事務所

記者発表資料  
Press Release  
本資料の発表を以て解禁  
令和3年3月19日

**将来に渡って親しまれる関屋分水路を願って！  
～関屋分水路シンボルマーク決定～**

私たちの暮らしを水害から守っている関屋分水路は2022年（令和4年）8月に通水50周年を迎えます。50年の節目に信濃川下流域のシンボルとしてより多くの人に知っていただけるよう、将来に渡って親しまれるよう公募していた関屋分水路のシンボルマークが決定しました。

全国からの応募総数273点の中から選ばれた最優秀受賞者の栄誉をたたえ表彰式を実施します。

記


1. 開催日時 令和3年3月23日（火） 14時～  
2. 会 場 信濃川下流河川事務所  
3. 次 第 開 式  
主催者挨拶  
表彰状授与  
講 評  
受賞者挨拶  
閉 式  
4. そ の 他 表彰式後に記念撮影を行います。  
会場受付は13時30分から開始致します。

※審査結果は関屋分水路通水50周年記念特設サイトへ掲載します。

■注意事項

1. 取材にお越しの際は事前にご連絡をいただきますようお願い致します。  
2. 新型コロナウイルスへの感染拡大防止の観点から取材の際は、マスクの着用をお願いします。

<同時配布先>  
県政記者クラブ、新潟県政記者クラブ、新潟市政記者クラブ、新市政記者クラブ、三条市政記者クラブ



決定したシンボルマーク

関屋分水路通水50周年記念特設サイトにも掲載

**シンボルマーク募集  
入賞者発表！！**  
SYMBOL MARK

関屋分水路シンボルマーク募集に、多数のご応募いただきありがとうございました。  
2021年（令和3年）3月23日、273件の応募作品の中から最優秀賞1作品、優秀賞4作品が決定しましたのでお知らせいたします。

**審査**

関屋分水路通水50周年記念事業 選考委員会委員及び学校法人 信濃総合学園 新潟デザイン専門学校 横野副校長をアドバイザーにお招きし、厳正な審査により最優秀賞1作品、優秀賞4作品を決定。  
横野副校長には、決定されたデザインの選評をいただきました。

**最優秀賞**



川口 隆裕さん（新潟市）

【作品コンセプト】  
日本海に注ぐ夕日（橘）にむかって、広くおおきな裾野平野（緑）に流れる信濃川（濃青）。

## 表彰式

【日 時】令和3年3月23日(火) 14:00～  
【会 場】国土交通省北陸地方整備局信濃川下流河川事務所  
【主催者】信濃川下流河川事務所  
【次 第】開式、主催者挨拶、表彰状授与、講評、受賞者挨拶、閉式



表彰式の様子（賞状授与）



表彰式（記念撮影）

表彰式の後には、当該マークを関屋分水のシンボルマークに限らず、信濃川下流河川事務所のシンボルマークとしても使用することとし、使用にあたっては最優秀賞受賞者からご快諾いただきました。



# 03

## 実行委員会設立

大河津分水通水99年にあたる令和3(2021)年8月25日、信濃川沿川の市町村長及び関係者の出席のもと、「大河津分水通水100周年・関屋分水通水50周年記念未来につながる事業実行委員会」の設立総会を開催しました。

信濃川河川事務所今井所長による挨拶で開会し、実行委員会会長は中原新潟市長に決定。実行委員会の規約、事業案が承認されたのち、実行委員会設立にあたり各市町村長から分水への感謝等のメッセージをしたためた色紙をご紹介いただきました。閉会後は色紙を持って集合写真を撮影し事業成功への意欲を高めました。



### 実行委員会

【日 時】令和3年8月25日(水) 10:00~11:30

【会 場】北陸地方整備局信濃川河川事務所大河津出張所

【主催者】北陸地方整備局 信濃川河川事務所、信濃川下流河川事務所

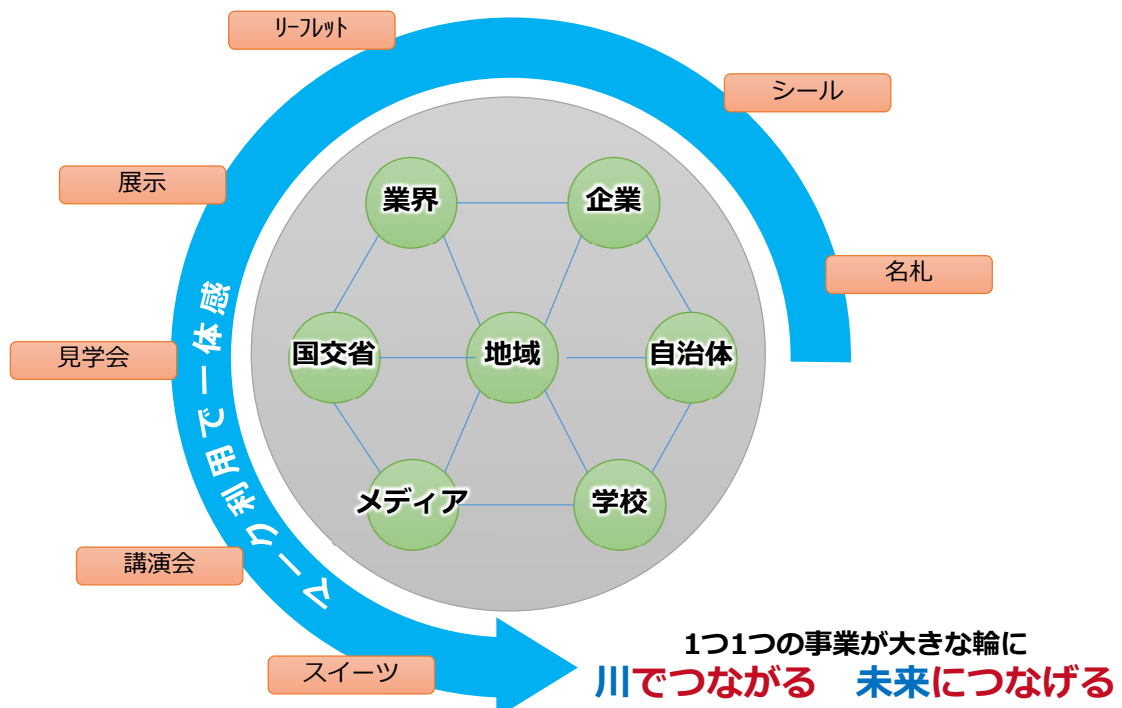
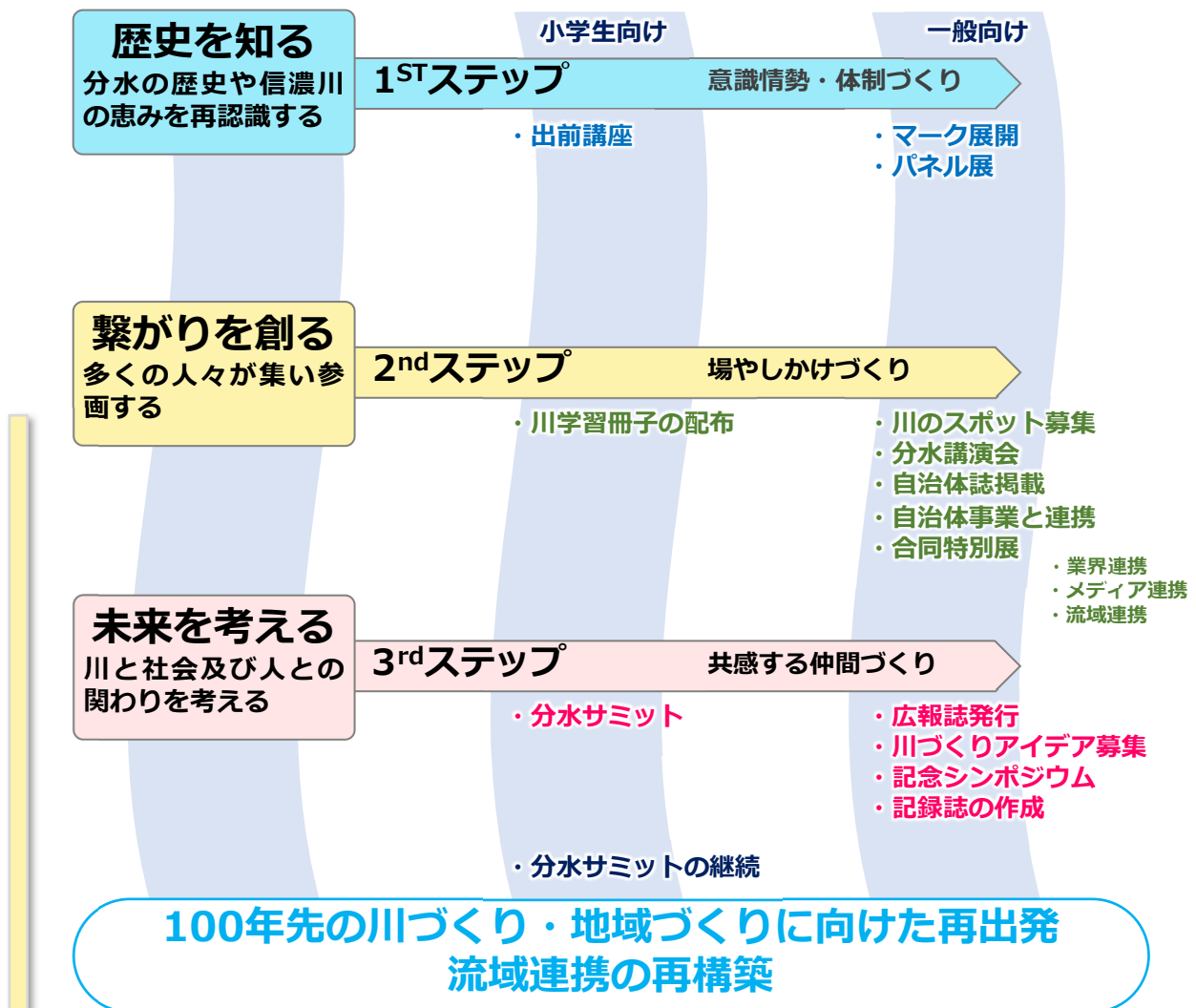
【出席者】中原新潟市長、磯田長岡市長、滝沢三条市長、藤田加茂市長、久住見附市長、鈴木燕市長、小林弥彦村長、佐野田上町長、新潟県土木部河川管理課長、新潟県新潟地域振興局地域整備部長、新潟県三条地域振興局地域整備部長、新潟県長岡地域振興局地域整備部長、北陸地方整備局信濃川河川事務所長、北陸地方整備局信濃川下流河川事務所長

#### 実行委員会次第

1. 開会
2. 出席者紹介
3. 設立趣意
4. 実行委員会規約(案)・会長選出
5. 事業(案)について
6. メッセージの発信について
7. 閉会



## 事業イメージ



## 直筆メッセージ

大河津分水通水100周年・関屋分水通水50周年の機運醸成や未来の川づくりに向けたメッセージを直筆にてしたためていただきました。

新潟市長 中原 八一

恵水  
萬代

「恵水萬代」 新潟市長 中原 八一

大河津分水と関屋分水によって安全が確保され、洪水などの災害を受けることなく、水に親しみ、水の恵みを受けて繁栄することができています。この豊かな環境が将来にわたって続いてほしいという願いをこめてこの言葉を選びました。日本一の大河信濃川の最下流部に位置する新潟市。その中であって萬代橋やすらぎ堤などが、多くの方々に親しまれているのは治水のおかげです。

長岡市長 磯田 達伸

治水  
共栄

「治水共栄」 長岡市長 磯田 達伸

令和元年の信濃川の洪水を機に、大河津分水の100年間の治水の意義は極めて大きくなりました。大河津分水があるからこそ信濃川の洪水を流すことができて、今ほど治水の意味・価値・役割が注目されているときはないです。一方で、長岡花火は信濃川のほとりで打ち上げることに意味があり、とても評価されています。治水と共に栄える地域・流域であってほしいという願いを込めました。

三条市長 滝沢 亮

和泥  
合水

「和泥合水」 三条市長 滝沢 亮

仏教の言葉で、自分の身を挺して・犠牲にして人を助けるという意味があります。まさしく大河津分水・関屋分水の存在こそが、自らを犠牲にして人を助けることの象徴だと感じます。4月の殉職者慰霊式や現在の大河津分水令和の大改修でも多くの方が携わり、尽力されていることを実感しました。そういった方々のおかげで私達の安心・安全が守られていることに感謝する意味でこの言葉を選びました。

加茂市長 藤田 明美

恵みの  
川

「恵みの川」 加茂市長 藤田 明美

加茂市は信濃川が大きく蛇行するところに位置しています。信濃川が運んできた土砂が堆積し、肥沃な土壌を作り、新潟県内有数の果樹産地となっています。私自身も小さい頃から桃畑、リンゴ畑に収穫に向かう両親、祖父母の背中を見て育ってきました。時に川は脅威となるものがありますが、この豊かな土地、過去から続いている土地が未来にも続いてほしいという願い、この言葉を書きました。



川に学ぶ  
見附市長 久住 時男

「川に学ぶ」 見附市長 久住 時男

危険だからと、川を背にして暮らしていた時代もありましたが、故郷は川によって暮らし・生活が成り立っており、自然環境を含めた豊かさや恵み、その反面の危険の両方を暮らしの中で実際に学ぶべきだと感じています。学ぶという観点で川は大きな力を持っています。先人が大河津分水や関屋分水を築いてくれた中で私達は生きている、その点を再度学びの原点にさせていただきたいために、この言葉を選びました。

大河飛燕  
燕市長 鈴木 力

「大河飛燕」 燕市長 鈴木 力

大河津分水のおかげで越後平野が守られ、そのおかげで世界に冠たる産業の街燕市が発展してきました。これまでの大河津分水の役割に感謝しつつ、その恩恵を受けながら、これからも燕市は飛躍していきます、という意味を込めました。大河津分水の地元として、大河津分水がなければ燕の発展はなかったという思いで、未来を担う若い人たちも巻き込みながら周年事業に取り組んでいきたいと考えています。

大川地潤  
五泉市長 伊藤 勝美

「川潤大地」 五泉市長 伊藤 勝美

川は大地を潤し、土壌を豊かにしてくれます。五泉の特産品、さといも帛乙女（きぬおとめ）とはじめ、豊富な水と肥沃な大地に生み出される自然の恵みに感謝します。

未来の礎  
弥彦村長 小林 豊彦

「未来の礎」 弥彦村長 小林 豊彦

実行委員会のスローガンにもあるように、信濃と越後のこれからの豊かな未来を担保するのは大河津分水と関屋分水であるということから、この言葉を選びました。

百川帰海  
田上町長 佐野 恒雄

「百川帰海」 田上町長 佐野 恒雄

中国の淮南子という古典から引用しました。百川はあらゆるすべての川を指し示し、そのすべての川が海に注ぎ込むことから、多くの離れ離れになっているものが一か所に集まり、多くの人々の気持ちや考え方が一致することを意味します。

# 04 スポット 愛称募集

信濃川流域への関心を高めるために、信濃川とその周辺のおすすめスポットや景色を募集し、思い出の場所やお気に入りの眺め、毎年訪れる河川イベントなど、合計で355ヶ所のスポットを応募いただきました。また、信濃川大河津資料館と関屋分水資料館の愛称も併せて募集し、合計632点の応募をいただきました。

投票箱を設置した場所には大河津分水と関屋分水の2つの分水の歴史や役割、そして、越後平野にもたらした恩恵を紹介するパネルも展示し、信濃川により関心を持っていただくことができました。



## 募集概要

【募集期間】 令和3年9月1日(水)～令和3年12月19日(日)

【応募方法】 信濃川沿川市町村の約20箇所に設置された応募箱に投函、またはインターネット応募

### 主な応募箱設置場所

- 新潟市生涯学習センター
- 新潟市亀田図書館
- 新潟市新津図書館
- 新潟市坂井輪図書館
- 新潟市白根学習館
- ながおか市民センター
- 長岡市寺泊支所
- 長岡市中之島文化センター
- 三条市役所
- 加茂市役所
- 道の駅パティオにいがた
- 燕市役所
- 五泉市役所
- 弥彦村役場
- 田上町交流会館
- 新潟県三条地域振興局
- 新潟県長岡地域振興局
- 関屋分水資料館
- 信濃川大河津資料館
- にとこみえ〜る館



ながおか市民センター

各地に掲示したポスター



弥彦村役場



三条市体育文化会館



加茂市役所



## 分水紹介パネル



## 皆さんの声

信濃川おすすめスポットや資料館の愛称募集の際は、そのスポットや愛称を応募された理由も一緒にお聞きしました。応募された皆さんの信濃川や大河津分水・関屋分水への想いの一部をご紹介します。

### おすすめスポット

萬代橋をよく散歩します。  
橋から見る景色が最高です！

ミズベリング三条は  
パパと遊んだ思い出の場所！

弥彦山頂からの眺めは気持ち  
良い時間をすごせます

加茂川を泳ぐ鯉のぼりは  
毎年子どもと見に行きます

能代川はサケの遡上を観察で  
きる場所があります

おいらん道中が行われる大河  
津分水桜並木はとても美しい

### 愛称募集

信濃川のしな+成るで  
「しなる」

「みずしる大河津」  
「みずしる関屋」

関屋分水だから  
「セッキー」

分水にあるので  
「ブンブン」

関屋のせき+きつとで  
「せきと」



たくさんのご応募  
ありがとうございました！

## 信濃川スポットマップ

★募集したスポットを  
とりまとめた冊子を公開しています！



100thHPへ  
<https://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/ohkouzu100th/ohkouzu100th.html>

# 05 分水 講演会

実行委員会の構成市町村において開催した「分水講演会」。全9回の分水講演会でご来場いただいた人数は延べ500人にのぼり、大河津分水や関屋分水が地域に与えた影響や各地での川との関係性を深める取り組みを知る機会となりました。また、参加者の皆様から多くのご質問をいただき、大河津分水をはじめとする川への関心の高さを再確認する機会となり、これからの川づくりを考える観点からも未来へ想いを繋ぐ時間となりました。



## 第1回 中之島の先人達と大河津分水の恩恵

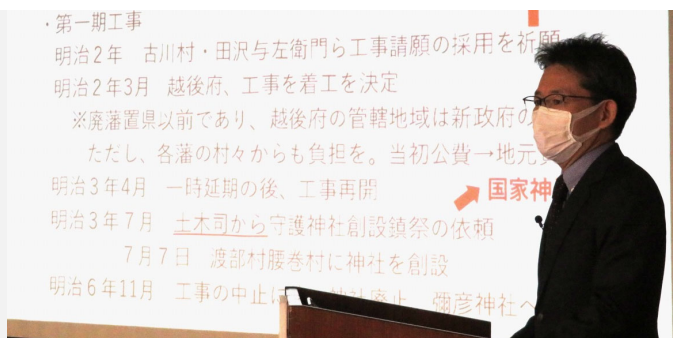
【講師】 中之島郷土史研究会 高森 精二

大竹貫一をはじめとする先人たちの大河津分水実現にかけた想いや苦勞を知るとともに、水害の減少や農地の整備など大河津分水の恩恵を再確認できる貴重な講演でした。(オンライン開催)

## 第2回 大河津分水と彌彦神社

【講師】 新潟県立歴史博物館 田邊 幹

彌彦神社に奉納された約600点の大河津分水資料から、大河津分水と関屋分水の必要性を説いた「北越治水策」に焦点を当てて、その内容を詳しく説明いただきました。(オンライン開催)



## 第3回 田上町と信濃川の治水

【日時】 令和4年3月27日(日) 14:00~15:30

【会場】 田上町総合保健福祉センター

【講師】 信濃川大河津資料館 樋口 勲

大河津分水の請願者の一人で田上町出身の高橋健三は、信濃川の洪水や濁りの現地調査も行っており、信濃川流域全体の治水を目指していたことを紹介いただきました。

## 第4回 大河津分水と桜と私

【日時】 令和4年4月2日(土) 14:00~15:30

【会場】 燕市分水公民館

【講師】 ラジオパーソナリティ 遠藤 麻理

学生時代の大河津分水の思い出や、近年の大河津分水でのイベント出演など自身と大河津分水の関りや、桜を含めた大河津分水の魅力を未来に伝えていくことの大切さをお話いただきました。





### 第5回 大学生と地域の協働による 大河津分水の魅力発信

【日時】 令和4年4月23日(土) 14:00～15:30  
【会場】 加茂市 産業センター  
【講師】 新潟経営大学 中島 純

大河津分水での謎解き散策や大河津神社の開発など多彩な活動をされている新潟経営大学の皆さん。学生による取り組みの紹介も大好評でした。



### 第6回 大河津分水を巡る 三条周辺の動き

【日時】 令和4年5月14日(土) 14:00～15:30  
【会場】 三条東公民館  
【講師】 三条歴史研究会 羽賀 吉昭

三条地域における大河津分水の請願の状況や、近代における五十嵐川も含めた治水対策などのほか、大河津分水工事における労働者の環境についても知る機会となりました。



### 第7回 激甚化する 気象災害に備えて

【日時】 令和4年5月22日(日) 14:00～15:30  
【会場】 五泉市 福祉会館  
【講師】 気象予報士 井田 寛子

近年の水害の特徴や激甚化する被害など気象災害の変容をお伝えいただくとともに、その中で私達の行動が命を守ることに繋がることを再認識する機会となりました。



### 第8回 川に学ぶ・ふるさとを知る

【日時】 令和4年6月4日(土) 10:30～12:00  
【会場】 見附市 中央公民館  
【講師】 三条市立第四中学校元校長 五十嵐 一浩

水害の防災教育は、命を守る術を考えることはもちろん、先人達の川との向き合い方を学ぶ機会でもあり「防災教育は郷土愛の育成である」とお話いただき、地域について考える時間となりました。



### 第9回 2つの分水と新潟の発展

【日時】 令和4年6月25日(土) 14:00～15:30  
【会場】 万代市民会館  
【講師】 新潟市歴史博物館前館長 伊東祐之

大河津分水と関屋分水の2つの分水の建設の歴史から、人々は自然と向き合い、今の時代を築いていったことを紹介いただき、これからの川との向き合い方を考える機会をいただきました。



## 分水講演会の動画公開

★全9回の分水講演会動画をYouTubeにて公開しています。詳しくは大河津分水100周年HPをご覧ください。



100thHPへ  
<https://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/ohkouzu100th/ohkouzu100th.html>





# 06 OHKOUZU day

大正11(1922)年8月25日に通水した大河津分水。通水から100年にあたる令和4(2022)年8月25日に、記念イベント「OHKOUZU day～大河津分水の日～」を開催しました。通水をイメージした可動堰ゲートオープン、中学生の大河津分水学習発表会・演奏会、小学生のメッセージ灯籠紹介の他、信濃川沿川の市町村長等から未来の川への想いや大河津分水への感謝のメッセージなどを記入いただきました。



## イベント概要

【日 時】令和4年8月25日(木) 15:00～18:30  
【会 場】大河津分水周辺  
【参 加】約500名  
【主催者】信濃川河川事務所

100周年と「OHKOUZU day」を  
かけ合わせたロゴも作成しました。



**祝 100 大河津分水 通水100周年**  
The Ohkousu Diverging Channel 100th Anniversary

**OHKOUZU day**  
～大河津分水の日～  
2022.8.25

**8月25日(木) 15:00～18:30** ※信濃川大河津資料館周辺  
大河津分水は100年前の1922年8月25日に通水しました。  
8月25日(木)に大河津分水の通水100周年を記念し、燕市の中学校生徒による演奏会や、小学校児童による点灯式等を開催します。  
一緒に100歳の誕生日をお祝いしましょう。

**15:00～ ゲートオープンセレモニー**  
※可動堰右岸高水敷  
参加者の皆さんでカウントダウンし、可動堰のゲートを  
開けて通水します！100周年記念撮影を行います。  
◆可動堰ゲートオープン  
◆ショベルカーで掘いた文字のお披露目

**16:30～ 学習発表会&演奏会**  
※大河津出張所構内ステージ  
分水中学校の生徒さんによる学習発表会と、吹奏楽部の  
演奏会が行われます。  
◆分水中学校学習発表会  
◆分水中学校吹奏楽部演奏

**18:00～ ライトアップ&メッセージ記入**  
※大河津出張所構内ステージ  
分水小学校の児童による埋のライトアップ点灯式や灯籠  
の紹介などを行います。  
◆埋の点灯式  
◆現在建設中の第二床固の部に  
未来へ送ったメッセージを記入

詳細は後日、大河津分水通水100周年ホームページにて発表予定です。  
今後、内容が変更される可能性もありますが、ご了承ください。

**8月27日(土) 10:00～21:00** ※信濃川大河津資料館周辺  
8月27日(土)は大河津分水の通水に「感謝する1日」！大河津分水をフィー  
ルドにステージショーやマルシェ、体験ブースなどが並びます！夜は花火  
の打ち上げも、こちらもぜひご来場ください！

## ゲートオープン

100年前の通水を再現した  
ゲートオープンセレモニー。会  
場のみなさんのカウントダウン  
で、可動堰のゲートを開放しま  
した。圧巻の流水音に会場から  
は歓声が上がりました。



特別に制作した100周年記念タオル



## ICT施工100

3Dデータによりパワーショベル  
の操作補助を行い造成した  
「100」の文字。周年事業実行  
委員の9市町村旗と新潟県旗が並  
び、地域の方々との連携を発信  
しました。





## 学習発表会&演奏会

防災・観光・地域への想い・未来の4つのテーマで大河津分水の大切さについて学んだ分水中学校1年生。「感謝の想いが伝わるように演奏したい」と話してくれた分水中学校吹奏楽部の皆さん。大河津分水への感謝を感じられる時間となりました。



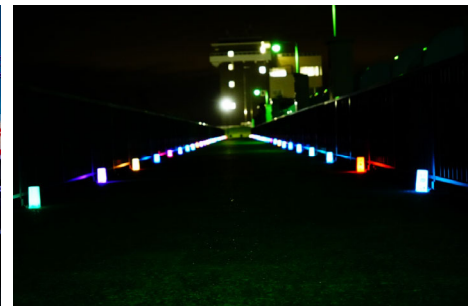
分水中学校の皆さん  
ありがとうございました！

## 堰のライトアップ

分水小学校4年生が制作してくれたメッセージ灯籠の紹介後に、会場の皆さんと一緒にカウントダウンし可動堰・旧可動堰・洗堰・旧洗堰の堰をライトアップしました。4つの堰に同時に灯りが灯るのは初めてのことでした。

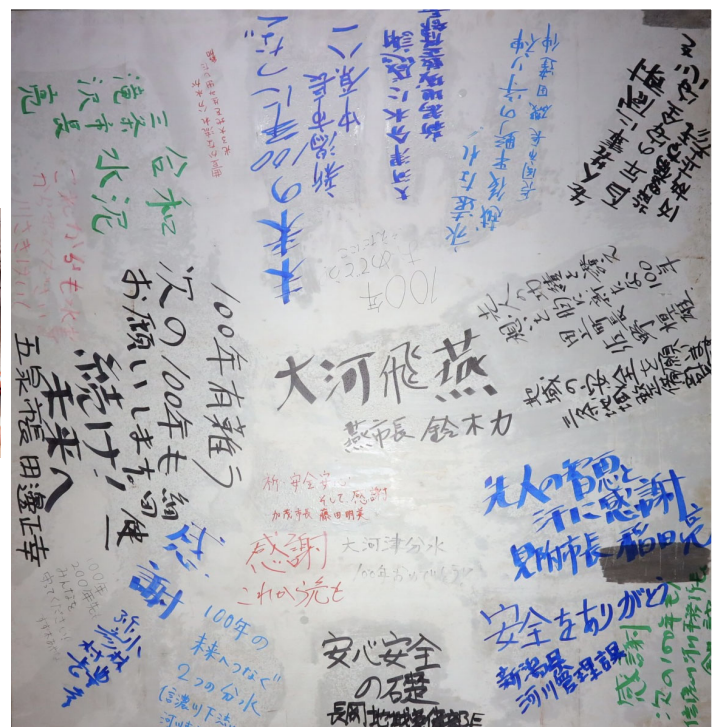


分水小学校の皆さんが制作してくれた灯籠



## メッセージ

現在建設中の新第二床固の部品「摩耗対策プレート」に実行委員会の委員の皆さまから未来へ向けたメッセージを記入いただきました。



## 摩耗対策プレートとは？

新第二床固のコンクリートが、洪水によってすり減ることを防ぐために設置するステンレス製のプレートです。



# 07 せきぶん 誕生祭

令和4(2022年)8月10日に通水から50周年を迎えた関屋分水。50年前の通水式と同じ日に、記念セレモニーの開催やクイズラリー、各種体験コーナー等を設置し、地域の方々と一緒に関屋分水通水50周年をお祝いする記念イベント「せきぶん誕生祭」を開催しました。



## イベント概要

【日 時】 令和4年8月10日(水) 9:00～12:00  
【会 場】 関屋分水資料館周辺  
【参 加】 約500名  
【主催者】 信濃川下流河川事務所

## 関屋分水通水50周年記念セレモニー

通水ボタンを押すメンバー、その並び、押す時間など、50年前の通水式を再現することで、50周年の記念日をお祝いしました。関屋分水路建設の背景には、工事に関する移転により「信濃町」「文京町」という新しい町が生まれたことから、両自治会からもセレモニーへ参加していただきました。さらに、「50年前の当時の様子を知っている方」及び「これからの未来を担っていく小学生」にも参加していただき、記念事業のテーマ「川でつながる未来につなげる」が実現できました。

### 【次第】

開会、挨拶、祝辞、来賓紹介、  
通水、お祝いメッセージ、  
記念撮影、閉会



セレモニーの様子



お祝いメッセージの披露

### 1972年 通水式



新潟大堰のゲートオープン



日本海へ広がる様子



通水を祝う様子

### 2022年 通水式再現



新潟大堰のゲートオープン



日本海へ広がる様子



通水から50年を祝う様子



## イベントの様子

### せきぶんクイズラリー



関屋分水及びやすらぎ堤に設置された合計10カ所の出題ポイントQRコードをスマートフォンで読み込みクイズラリーに参加。上級と初級を選択でき、正解数に応じて景品がもらえました。  
(実施期間：令和3年8月10日～8月31日)

### はたらく車の展示・試乗



バックホウやダンプトラック、排水ポンプ車の運転席への搭乗、照明車の照明装置の操作、遠隔操縦式草刈機のリモコン操作など、見学だけではない体験型の企画。搭乗時には記念撮影も実施。

### ヘッドランド3Dビューア体験



海岸事業について知っていたくため、ヘッドランド工事に関する3次元設計データの紹介、作業風景の動画上映、工事機材・測量機器の展示、ヘルメット式潜水器具の装着体験を実施。

### 降雨体験



時間雨量10mm～180mmまでを段階的に体験し、災害の恐ろしさ、被害に対する備えを学習。非常に好評で、終了時間まで途切れることなく参加希望者が訪れました。

### 地震体験



新潟地震・中越地震(震度7相当)を体験。親子で一緒に楽しみながら防災について学んでいただきました。

### 木造工作体験



間伐材を使用した丸太切り体験や、加工済みの木材を利用した家具の組立を体験。親子で参加される方が多く、親子の共同体験を楽しんでもらえました。

### 信濃川VR体験



ヘッドマウントディスプレイを使用し、VRコンテンツを体感。「インフラ編」「治水編」「新潟市の発展編」「食編」の4つのテーマを選択し視聴。

### せきぶんお絵かき



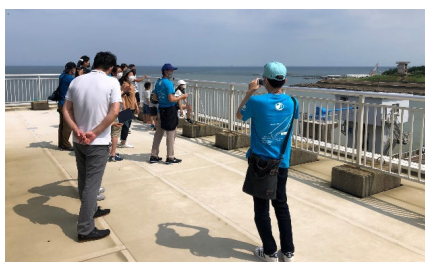
ホワイトボードに周年ロゴ、信濃川下流域の生きもののイラストを制作。自由に塗り絵をしてもらいました。生きもののイラストは職員自身の手で制作。

### 水遊び体験



アクアブレイ（水を使った遊び道具）を用いて、川の水の流れや水路・水門などの役割について遊びながら学ぶ。終始楽しそうに遊んでおり、熱中している子供も多数。

### 関屋出張所・新潟大堰特別開放



関屋分水資料館、操作室、出張所屋上、新潟大堰1号主ゲートの機械室を見学。普段は入れない新潟大堰の機械室を見学し、堰はどのように動くのかなど、50年を迎えた身近な新潟大堰の役割等を知ってもらえました。



# 08 サックス フェスタ

8月27日には「大河津分水サックスフェスタ ～百歳おたんじょう会～」と題し、記念イベントを開催しました。トークショー、クイズ大会、ラジオ番組の公開収録、燕市PR大使のコンサート、ツバメルシェ、川下り体験など、大河津分水を舞台にした催し物に約6,500人の皆さまがご来場され、イベントを通して大河津分水に触れ、学び、感謝の気持ちを再確認する一日となりました。



## イベント概要

【日 時】令和4年8月27日(土) 10:00～21:00  
【会 場】大河津分水周辺  
【参 加】約6,500名  
【主催者】燕市、信濃川河川事務所、つばめ若者会議、新潟経営大学中島ゼミ、Love River Net



## ステージイベントの様子

### 大河津分水クイズ



新潟経営大学学生による〇×クイズ大会。大河津分水に関するクイズが出題されました。全問正解者には燕市の特産品がプレゼントされました。

### 1日河川事務所鳥任命



燕市PR隊鳥(長)東京ヤクルトスワローズのつば九郎が1日河川事務所鳥(長)に任命されました。MC中静さん、今井事務所長と3人の掛け合いに会場は大盛り上がりでした。

### ラジオ公開収録



燕三条FM放送「さとちん電波隊」公開収録が行われました。ゲストの宮村優希さんと「川」をテーマにトークしました。

### 関屋分水路と中継



水害から守ってくれる2つの分水に感謝し、関屋分水、大河津分水、やすらぎ堤の3会場を中継、メッセージボードを掲げて記念撮影を行いました。

### コンサート



燕市PR大使 上杉香緒里さんのコンサート。「名所で歌えて幸せです」とお話くださいました。分水太極拳会の方々がバックダンサーを務める場面もありました。

### コンサート



コンサートを締めくくったのは、燕市PR大使 本宮宏美さんによるフルート演奏です。大河津分水通水100周年を記念して作られた楽曲「大河飛燕」も披露されました。



## 周辺・館内イベントの様子



新潟経営大学中島ゼミの皆さんが考案した大河津分水にまつわるミッションをクリアしながら、大河津分水を歩いていただきました。



「100」の文字を形取った射的など分水商工会の皆さんから楽しい大河津分水をご提供いただきました。



大河津分水が描かれたマンホールカードの配布や大河津分水の写真10枚が収録された記念切手の販売が行われました。



館内の様子

展望台を見学したり、記念ボードの前で記念撮影をしたりと信濃川大河津資料館内も大賑わいでした。



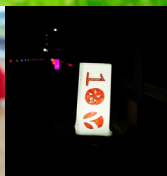
メッセージ記入

新第二床固に設置される摩耗対策プレートに、感謝のメッセージや未来への想いなどを記入いただきました。



お茶を楽しむ会

友の会の皆さんによるお茶を楽しむ会は冷たいお抹茶と大河津分水の景色を楽しむ贅沢なひと時でした。





# 09 せきぶん 感謝祭

令和4(2022)年8月27日に「せきぶん感謝祭」と題した治水イベントを開催しました。新潟市のイベントと連携し、関屋分水誕生50周年を市民の皆さんに知ってもらい感謝を共有する良い機会となり、連携と一体感創出の相乗効果により双方のイベントが賑わいました。



## イベント概要

【日 時】 令和4年8月27日(土) 9:00～17:00  
【会 場】 関屋分水資料館、やすらぎ堤  
【参 加】 約300名  
【主催者】 信濃川下流河川事務所

## せきぶん治水歴史ウォーク

通水から現在に至るまでの歴史やその役割について、一般の方々に少しでも知ってもらい、身近に感じてもらいたい！と思い、通水50周年を迎えた関屋分水を歩きながら学ぶ「せきぶん治水歴史ウォーク」を開催しました。午前の部（ショートコース2km）と午後の部（ロングコース5km）の2コースを設定し、個人の体力等に応じて申込みいただき、午前の部は29名、午後の部は43名の方々にご参加いただきました。



**関屋分水 通水50周年** **川でつながる 未来につなげる**

### せきぶん治水歴史ウォーク

令和4年(2022年)に関屋分水は通水から50周年を迎えます。ガイドと一緒に関屋分水とその周辺を歩き、関屋分水誕生の歴史やその役割をまなびましょう！

**参加費 無料**

**日時** 令和4年 8月27日(土) 小雨決行

**受付** 午前の部(2km) 9:30～10:00  
午後の部(5km) 13:00～13:30

**参加者には 記念品を 贈呈!**

→ 約2km 10:00～1.5時間程度  
→ 約5km 13:30～2.5時間程度

※天候等により中止の場合は信濃川下流河川事務所ホームページでお知らせします。

**スタート** 関屋分水資料館

**コース** 関屋分水資料館 → 関屋分水 → 関屋分水資料館

**見 所** トイレ、水飲み場、東屋、ウォーターシャトル、シャトルバス

主催/国土交通省 北陸地方整備局 信濃川下流河川事務所 共催/大河津分水通水100周年・関屋分水通水50周年記念未来につなげる事業実行委員会





## イベントの様子

### 信濃川ウォーターシャトル特別運航



「萬代橋誕生祭」と「せきぶん感謝祭」の両会場をつなぎ運航。普段航行が禁止されている関屋分水路だが、新潟の町並みや信濃川水門などの施設をいつもと違った目線で眺めて、川について親しんでもらいました。

### E ボート体験&防災講座



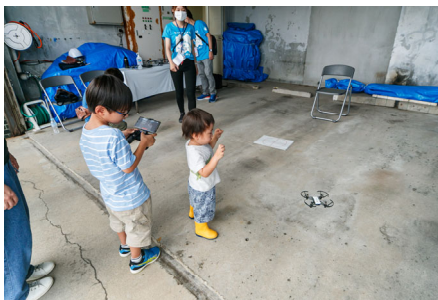
小学生以上を対象として安全な河川利用（水難事故防止）を目的とした講座及び体験会を開催。「もっと長い時間乗船したい！」という声を頂くほど人気でした。

### ヘッドランド3Dビューア体験



海岸事業について知っていただくため、ヘッドランド工事に関する3次元設計データの紹介、作業風景の動画上映、工事機材・測量機器の展示、ヘルメット式潜水器具の装着体験を実施。水中ドローンは子供達に大変好評でした。

### トイドローン飛行体験



新技術であるドローンの操縦体験。天候の影響を受けやすいため、体験ブースは関屋出張所車庫内に設置。予想以上に人気で、午前の部の整理券は1時間でなくなっていました。

### 工作ブース「エッキー」



液状化体験グッズ「エッキー」の作成。ペットボトルで簡易版液状化体験装置を作成してもらい、プラ箱の液状化体験装置で液状化現象の仕組みを見て学習。幅広い世代の方に体験しに来ていただきました。

### 木造工作体験



間伐材を使用した丸太切り体験や、加工済みの木材を利用した家具の組立を体験。丸太切りと家具組立の両方の体験される方も多くいて、大変好評でした。

### はたらく車の展示・試乗



バックホウやダンプトラック、排水ポンプ車の運転席への搭乗、照明車の照明装置の操作、遠隔操縦式草刈機のリモコン操作など、見学だけではない体験型の企画。搭乗時には記念撮影も実施。

### せきぶんお絵かき



ホワイトボードに周年ロゴ、信濃川下流域の生きもののイラストを制作し、自由に塗り絵をしてもらいました。塗り絵だけでなく、子供たちが自由な発想で描いてくれた様々なイラストもとてもステキでした。

### 関屋出張所・新潟大堰特別開放



ルートA（関屋分水資料館、遠隔操作室、出張所屋上、新潟大堰操作室）とルートB（新潟大堰1号・2号主ゲートの操作室のみ）に分けて案内を実施。新潟大堰の役割や24時間体制で見守っていることなどを知っていただきました。



# 10 6館 リレー展

新潟県内6つの博物館、資料館が越後平野の治水の歴史や郷土の発展を振り返る特別展を実施しました。リレー展という言葉には、地域をつなぐ、歴史を未来につなぐ、想いをつなぐ、などの意味が込められています。6館の特性をいかした企画展を約半年にわたって順次開催することで、信濃川や大河津分水等を多彩な観点で紹介。信濃川流域の地域や先人の想いを含めた歴史を未来につなぎました。



## リレー展概要

【期 間】 令和4年7月～令和5年1月  
【会 場】 燕市分水良寛史料館  
燕市長善館史料館  
新潟市歴史博物館  
信濃川大河津資料館  
長岡市立科学博物館  
新潟県立歴史博物館

## スタンプラリー



各館を巡るスタンプラリーも並行して開催。4館以上でクリアファイル、6館全館でエコバッグをプレゼントしました。

## 共通パネル



会場には令和元年の信濃川の洪水写真を掲示。信濃川の恩恵と災いの二面性を紹介しました。

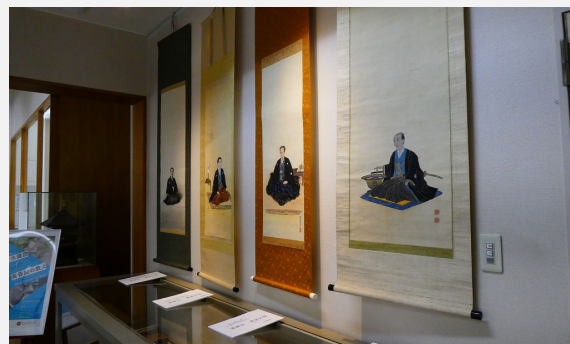
## 各館の展示

燕市分水良寛史料館 7/12(火)～8/28(日)

良寛の生きた時代と  
大河津分水へつなぐ良寛のころ

良寛が生きた時代の水害や暮らし、その中で必要性が高まっていた大河津分水実現への歩みを紹介しました。

燕市長善館史料館 7/12(火)～8/28(日)

大河津分水建設に情熱を注いだ門下生と  
長善館の教え

大河津分水建設に奔走した長善館の門下生たちの功績や長善館の教えを紹介しました。

新潟市歴史博物館 7/17(日)～8/28(日)

## 大河津分水・関屋分水と新潟市



新潟市域の治水の歴史、新潟港や新潟市中心市街地の発展と両分水が果たした役割を紹介しました。

信濃川大河津資料館 7/26(火)～9/25(日)

## 100年前の大河津分水工事



大河津分水計画平面図や掘削手順、通水の瞬間の記録の他、従業員の愛用品の実物などを紹介しました。

長岡市立科学博物館 9/6(火)～10/30(日)

大河津分水が作り出した自然  
-分水誕生は沿岸域の自然をどう変えたのか？-

寺泊沿岸域の地形変化と、そこに住む多様な生物達を紹介しました。

新潟県立歴史博物館 11/12(土)～令和5年1/15(日)

## 信濃川の治水と大河津分水



江戸時代からの大河津分水請願運動、大正時代の工事の様子、大河津分水の効果等を国際社会との関わり観点にも触れて紹介しました。



# 11 分水 サミット

信濃川流域の9つの小学校の皆さんから、川について学習した成果を発表いただく「分水サミット」を開催しました。身近な川への想いや、川の環境を守り今よりも良くしていくアイデア、水辺に多くの人たちが集ってくれる方法など、地域を流れる川や水辺を学んだ上で、川の未来に対して様々な提案をしていただきました。少し緊張した様子の子ども達でしたが、絵や図を使って堂々と分かりやすく発表していただき、多くの人達から川に関心を持っていただくきっかけとなりました。



## サミット概要

- 【日 時】 令和4年11月26日(土)10:00～12:15
- 【会 場】 ANAクラウンプラザホテル新潟
- 【参 加】 約120名
- 【参加校】 三条市立嵐南小学校、弥彦村立弥彦小学校、  
五泉市立村松小学校、長岡市立大河津小学校、  
加茂市立七谷小学校、田上町立田上小学校、  
見附市立葛巻小学校、燕市立分水小学校、  
新潟市立南万代小学校
- 【主催者】 大河津分水通水100周年・関屋分水通水50周年記念  
未来につながる事業実行委員会



川をテーマに多くの小学生が一堂に会する発表会は信濃川流域では初めての開催となりました。

## サミットの様子



「時代を切り拓く皆さんからの提案を楽しみにしています」中原新潟市長による開会の挨拶をいただきました。



大勢の参加者を前に、堂々と学習の成果を発表する姿がとても頼もしかったです。



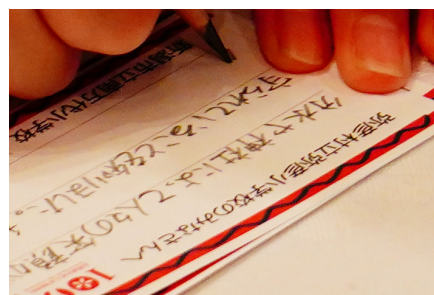
各校で工夫が凝らされていたスライド。楽しく分かりやすい発表となりました。



発表を聞いて気づいたことを伝え合う交流タイム。次々と手が挙がり時間が足りなくなるほどでした。



他の学校の皆さんの発表を聞いて、良かった点や感想をメッセージカードに記入しました。



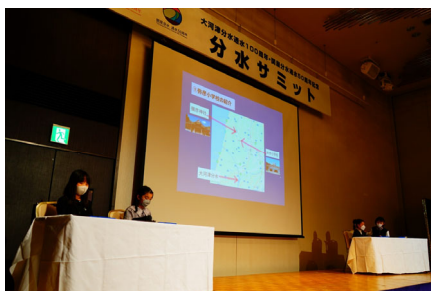
メッセージカードはサミット終了後に各校にお届けしました。同年代のメッセージは心に響いたようです。

## 各校の発表

- 三條市立嵐南小学校●  
わたしたちの五十嵐川  
～災いと恵みからの学び～



- 弥彦村立弥彦小学校●  
彌彦神社と大河津分水の関わり  
～これまでも、これからも～



- 五泉市立村松小学校●  
守ろう ふるさと五泉の水環境



- 長岡市立大河津小学校●  
かがやけ！ 大河津分水路！！



- 加茂市立七谷小学校●  
川のふるさと加茂川を楽しもう



- 田上町立田上小学校●  
才歩川探検隊！  
ふるさとの才歩川の魅力を伝えよう！



- 見附市立葛巻小学校●  
川・いのち・つなが  
守ろう 自然といのち つなごう  
見附の未来 みんなの未来にスマイル



- 燕市立分水小学校●  
大河津分水魅力発信！！  
～多くの人でにぎわう新たな名所へ～



- 新潟市立南万代小学校●  
「もしも」の備えは「ふだん」から  
～川が流れる街が好き！～



発表終了後に各市町村の職員から小学生達に感謝状が授与されました。



9つの小学校の皆さんと記念撮影。素晴らしい発表をありがとうございました！



# 12 記念 シンポジウム

信濃川流域の9つの自治体の市町村長と新潟県、国土交通省の代表者が集まり、これからの川との向き合い方を考える「未来に繋げる記念シンポジウム」を開催しました。大河津分水と関屋分水の2つの分水の効果や恩恵を再認識するとともに、近年の水害を踏まえた防災・減災の進め方や水辺の利活用を通じた地域活性化など、川や水辺との関わり方について意見が交わされました。



## シンポジウム概要

- 【日 時】令和4年12月4日(日)13:30～16:00
- 【会 場】新潟日報メディアシップ
- 【参 加】約120名
- 【主催者】大河津分水通水100周年  
関屋分水通水50周年記念  
未来につながる事業実行委員会



周年事業の委員も務める9自治体の市町村長と新潟県土木部河川管理課長、信濃川・信濃川下流の事務所長が登場しました。

**未来に繋げる  
記念シンポジウム**

2022年8月、大河津分水は通水100周年、関屋分水は通水50周年を迎えました。新潟の発展を支えてきた2つの分水の周年を祝う様々な事業を振り返るとともに、流域市町村の首長とこれからの川との向き合い方を考え、未来につなぐシンポジウムを開催します。

**日 時** 令和4年 **12.4(日)** 13:30～16:00 (予定)

**会 場** 新潟日報メディアシップ2階 日報ホール (新潟市中央区万代3-1-1)

**募集人数** 会場参加：100名、Zoomウェビナー：400名  
当日はライブ配信も並行実施

**申込締切** 11月28日(月)

**プログラム**

- 13:00 開場
- 13:30 開会：実行委員長挨拶 (新潟市長) (5分)
- 13:35 周年事業報告・メッセージ紹介 (25分)
- 14:00 ディスカッション第1部 (50分)
- 15:00 ディスカッション第2部 (50分)
- 15:50 閉会

【これまでの川に関する取り組みと今後の展望について】  
参加市町村長：新潟市、長岡市、三条市、加茂市、見附市、燕市、五泉市、弥彦村、田上町

【司会：フリーアナウンサー 遠藤 麻理】

主催／大河津分水通水100周年・関屋分水通水50周年記念 未来につながる事業実行委員会  
(新潟市・長岡市・三条市・加茂市・見附市・燕市・五泉市・弥彦村・田上町・新潟県・北陸地方整備局信濃川河川事務所・北陸地方整備局信濃川下流河川事務所)

国土交通省 北陸地方整備局 信濃川河川事務所  
〒950-0288 長岡市東通 1-5-50  
TEL 0270-32-3000

国土交通省 北陸地方整備局 信濃川下流河川事務所  
〒951-8503 新潟市中央区文京町 16-15  
TEL 025-236-7231

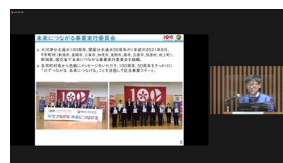
参加申し込み方法は裏面をご確認ください。フォームやメール、FAXにてお申し込みいただけます。



第1部「防災・減災」、第2部「親水・水辺の賑わい」の2部構成として開催しました。



2つの分水の旗を掲出



オンライン配信も実施



定員に達した会場



司会はラジオパーソナリティーの遠藤麻理氏



## シンポジウムの様子



「このシンポジウムを契機に、川と共に暮らした世代へ受け継がれていくことを心から願います。」中原新潟市長による開会の挨拶をいただきました。



ロゴマークの制作から分水講演会、通水記念イベント、サミットなどの周年事業を報告しました。また、事業を通じて集められたメッセージを動画で紹介しました。



第1部では川の「防災」に関する取り組みについて長岡市、見附市、燕市、弥彦村、田上町の首長から、課題や展望も含めてご紹介いただきました。



第2部では「親水・賑わいの創出」をテーマに、新潟市、三条市、加茂市、五泉市よりミズベリングや親水イベント、水辺の利活用方法等についてご紹介いただきました。



会場100名、オンライン20名の参加があり「各自治体の取り組みがよく分かった」「両分水の役割を多くの人々へ伝え次代へ繋げてほしい」などのご意見をいただきました。



「先人達の想いを引き継ぎ、これからの100年を流域自治体と新潟県と国とで協力しながら取り組んでいきたい。」と鈴木燕市長より挨拶をいただき閉会となりました。

## 集合写真



前列左より：

田上町長・弥彦村長・五泉市長・  
燕市長・新潟市長・長岡市長・  
三条市長・加茂市長・見附市長

後列左より：

信濃川河川事務所長・三条地域整備部長・  
新潟地域整備部長・遠藤麻理・  
新潟県河川管理課長・長岡地域整備部長・  
信濃川下流河川事務所長

## 新聞紙面でのシンポジウム報告



提供：新潟日報



# 01

## 石碑磨き

大河津分水工事に従事された方々へ感謝する意味を込めて大正12(1923)年に建立された「大河津分水工事殉職之碑」を綺麗にする石碑磨きを実施しました。また、大河津分水に込められた想いを未来に繋ぐ観点から桜の植樹も行いました。

【日 時】 令和4年4月16日(土)14:00～

【会 場】 大河津出張所構内、大河津分水公園

【主催者】 信濃川河川事務所、燕市役所



慰霊碑の周囲に足場をつくり「100年分の汚れを落とすぞ!」と気合を入れて磨きました。



燕市役所まちあそび部の高校生が中心となり「元気に育ってね!」と声を掛けながら植樹しました。



信濃川大河津資料館周辺のクリーン作戦も並行して実施。周囲には100周年の旗を掲げました。



# 02

## 大河津資料館 100万人達成

令和4(2022)年9月15日(木)、信濃川大河津資料館の来館者が、昭和53(1978)年10月28日の開館以来、100万人に達しました! 100万人目の来館者となったのは見附市立葛巻小学校4年生の皆さん。一緒にくす玉を割り100万人達成をお祝いしました。



「えっ!? 100万人目が私たちってこと?! すごいじゃん!」と緊張しながらも見事にくす玉を割っていただきました。記念品として大河津分水通水100周年の缶バッジや信濃川凸凹マップを贈呈。信濃川大河津資料館の見学が良い思い出となっていただけたら嬉しいです。



# 03 合格 通水石

大河津分水路の川底で約100年間洪水を流し続けた第二床固の一部を合格祈願のお守りに仕立て、受験シーズンに合わせて配布しました。大河津分水の実現は困難の連続でしたが、諦めずに請願し一生懸命に工事に励んだことで100年前に通水。「諦めなければ願いは通ずる」との思いを込めて、桜のマークに「通」の文字をあしらった特別な合格通水石です。



【日 時】令和5年2月14日(火) ~  
【会 場】信濃川大河津資料館、にとこみえ〜る館  
【配布数】100袋(各施設50袋)



「受験生の願いが通じますように！」と用意した合格通水石。袋の中に通水石とメッセージカードが入っています。



配布箇所の信濃川大河津資料館には開館と同時に多くの方々がお越しくださいました。



来館者からは「大河津分水のことを勉強してきた孫にあげたかったのありがたいです。」といった声が聞かれました。



職員より心を込めてお一人お一人へ「頑張ってください！」と手渡しさせていただきました。

## 合格祈願 自分を信じれば通るところ！

大河津分水路の要である第二床固の一部として洪水を流し続けた副堰堤が「令和の大改修」と題した大河津分水路の拡幅工事において撤去されています。その一部を記念として「諦めなければ通ずる」という思いを込めて受験生の皆さんにお届けしました。

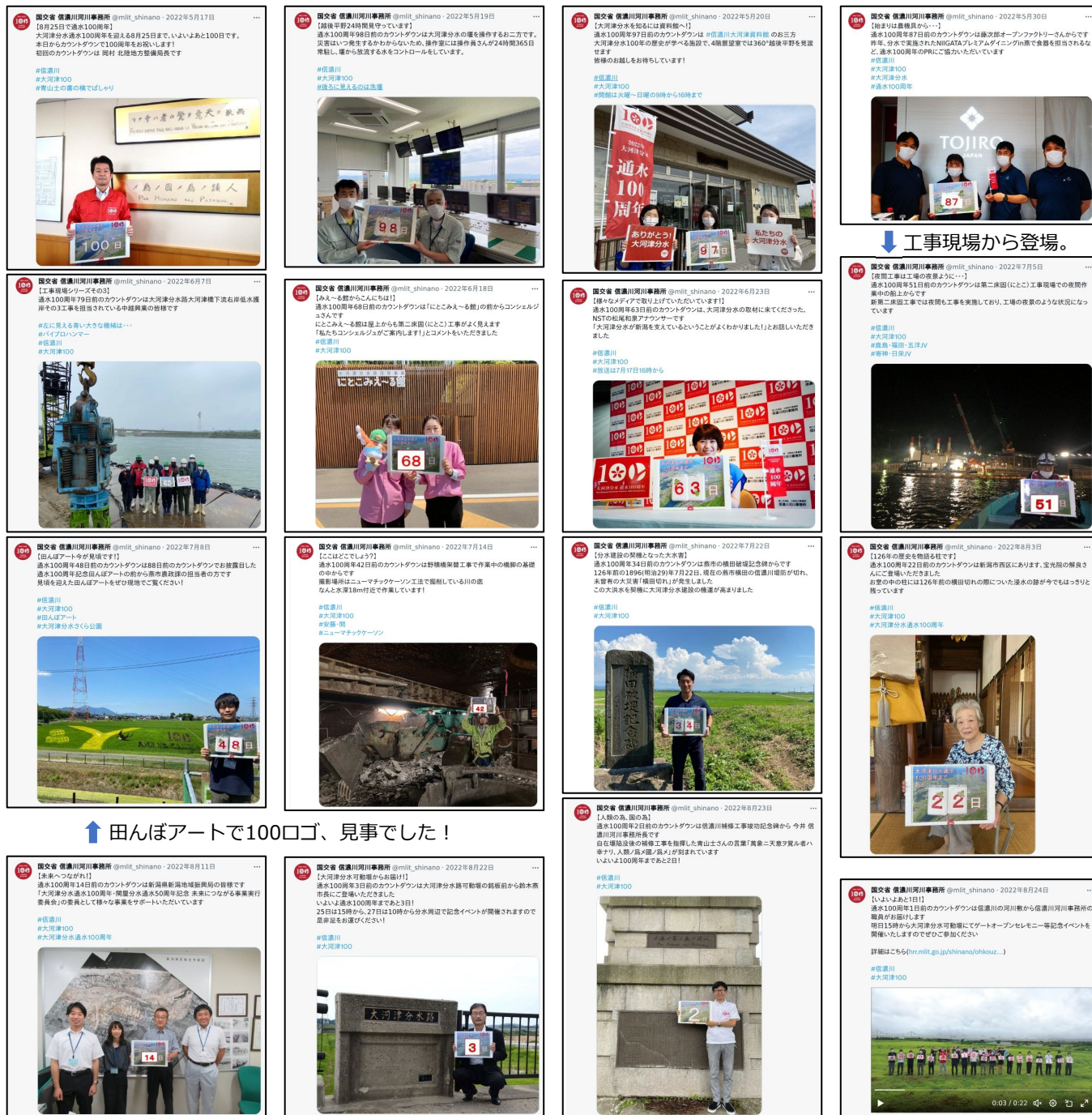


にとこちゃん



# 04 100周年 カウントダウン

大河津分水通水100周年を迎える令和4(2022)年8月25日までの100日間、様々な方々に登場いただく参加型カウントダウン企画を実施しました。スタートは100日前の5月17日(火)。1日1枚の写真をSNSに投稿し、通水100周年の記念日までを盛り上げました。



↑ 田んぼアートで100ロゴ、見事でした！

カウントダウン写真公開中

★100周年カウントダウンの写真はHPにも掲載しています！



100thHPへ  
<https://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/ohkouzu100th/ohkouzu100th.html>







# 05 50周年 カウントダウン

関屋分水通水50周年を迎える8月10日に向けて、通水50周年の認知度向上を目指し、ホームページやTwitterを活用してカウントダウン企画を実施しました。また、関屋分水への関心を高めてもらえるよう、Twitterではカウントダウンとともに関屋分水や信濃川に関する情報を発信し、8月10日の通水記念日に向け盛り上げました。



## 関屋分水路工事の記録動画

関屋分水路事業をまとめた建設当時の記録映画「関屋分水 完成までのあゆみ」をチャプター分割し、通水50周年の190日前の令和4年2月1日より10日毎に投稿しました。



## HPカウントダウン

事務所公式ホームページのトップページに200日前からカウントダウンカレンダーを設置し、ホームページ閲覧者向けに「通水の日」を周知。通水の日（令和4年8月10日）以降はお祝い（花火）の演出を行いました。





## 距離標カウントダウン

通水50周年を迎える8月10日の51日前の令和4年6月20日より、Twitterを活用して「距離標カウントダウン」を実施しました。信濃川下流河川事務所管理区間上流端の距離標50.8kmから関屋分水路河口に向かって、通水50周年のカウントダウン日数の数字と、その数字の距離標の信濃川の風景の移り変わりを写真や動画と共に投稿しました。写真や動画撮影は、施設見学に来ていただいた方々からもご協力いただきました。



## 信濃川下流・関屋分水にまつわる数字

カウントダウン日数の数字にちなんだ信濃川下流・関屋分水にまつわる豆知識を投稿しました（不定期）。



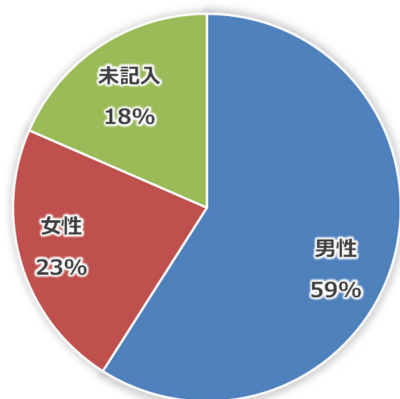
# 01 川づくり アンケート

分水講演会や記念シンポジウムにおいて川づくりに関する認識を調査するためにアンケートを実施しました。

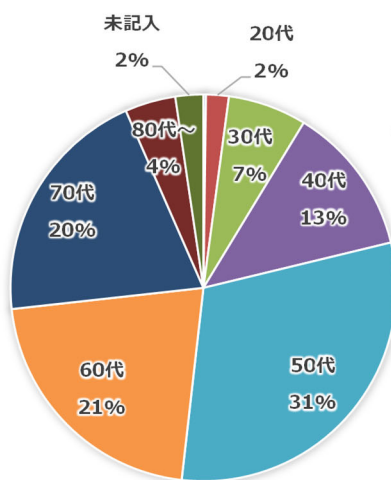
アンケート内容は、年齢や住居地域等の基本情報、身近に感じる川とそのイメージ等の川の現状、身近な川について将来に遺したいことや希望する取り組み等の川の未来についての3項目。合計471件のアンケートを回収し、データを整理分析しました。



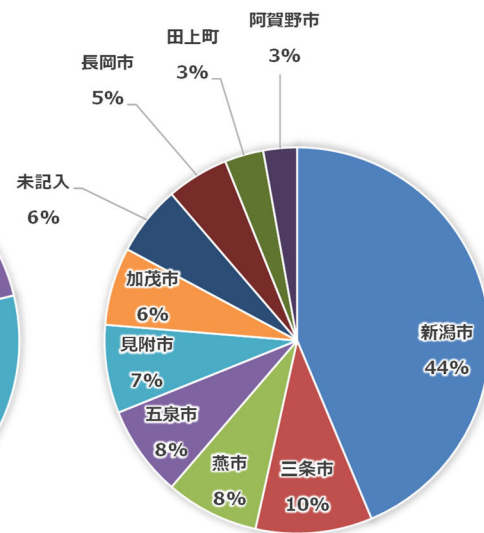
### 1.回答者に関する基本情報



性別 (n=471)

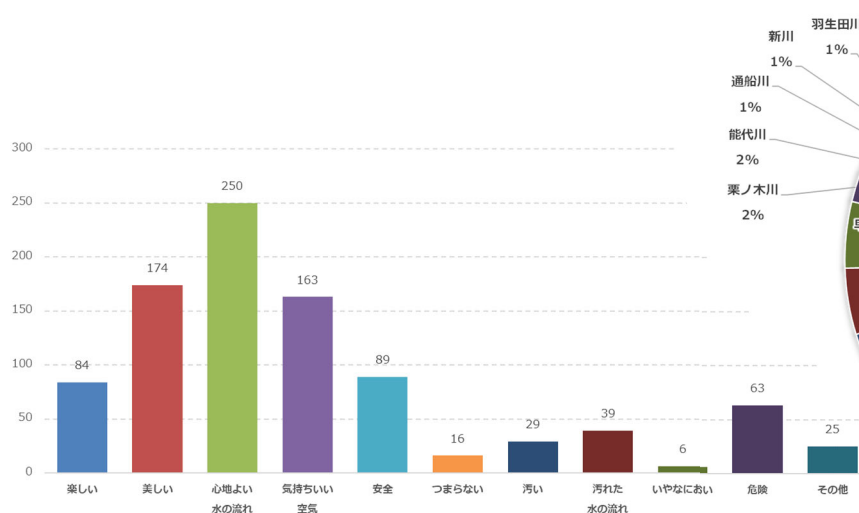


年代 (n=471)

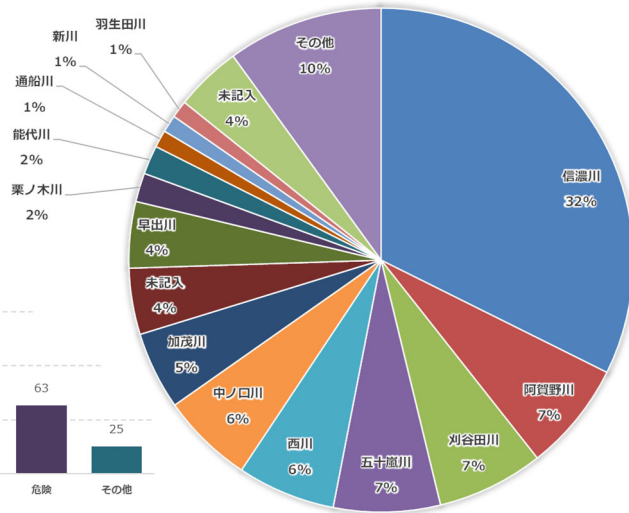


居住地 (n=471)

### 2-1.身近な川とそのイメージ



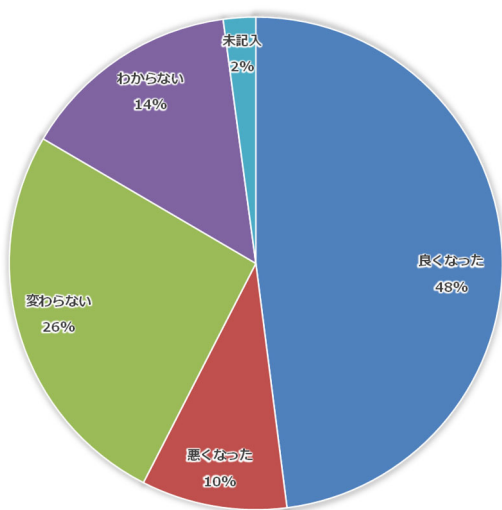
一番身近な川のイメージ (n=938)



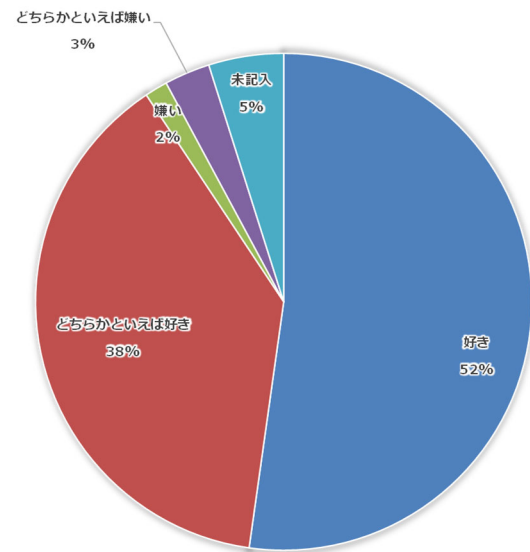
一番身近な川 (n=518)



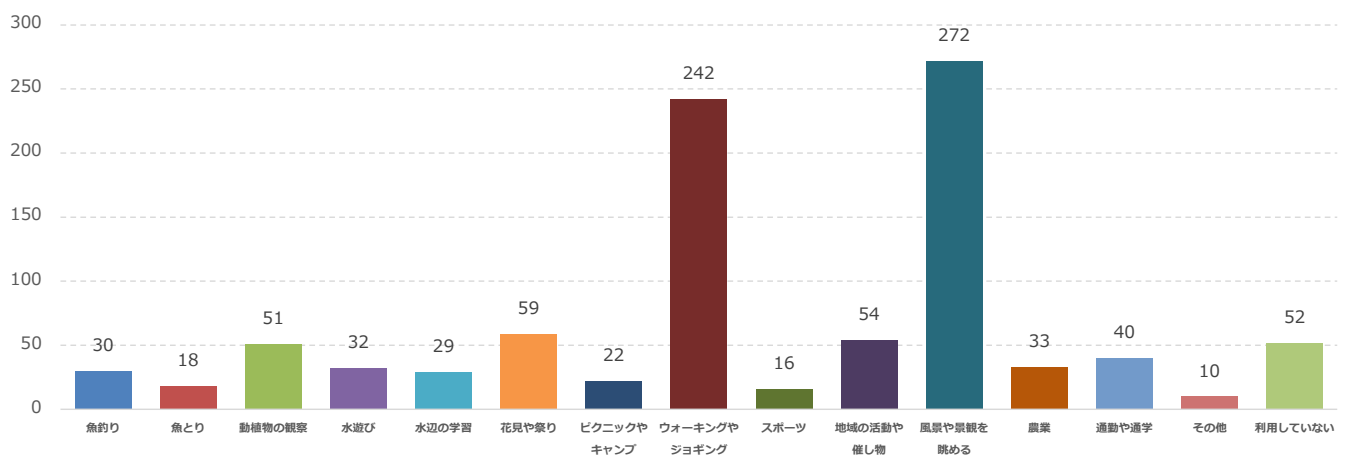
## 2-2.身近な川の変化



身近な川は昔と変わったか  
(n=471)

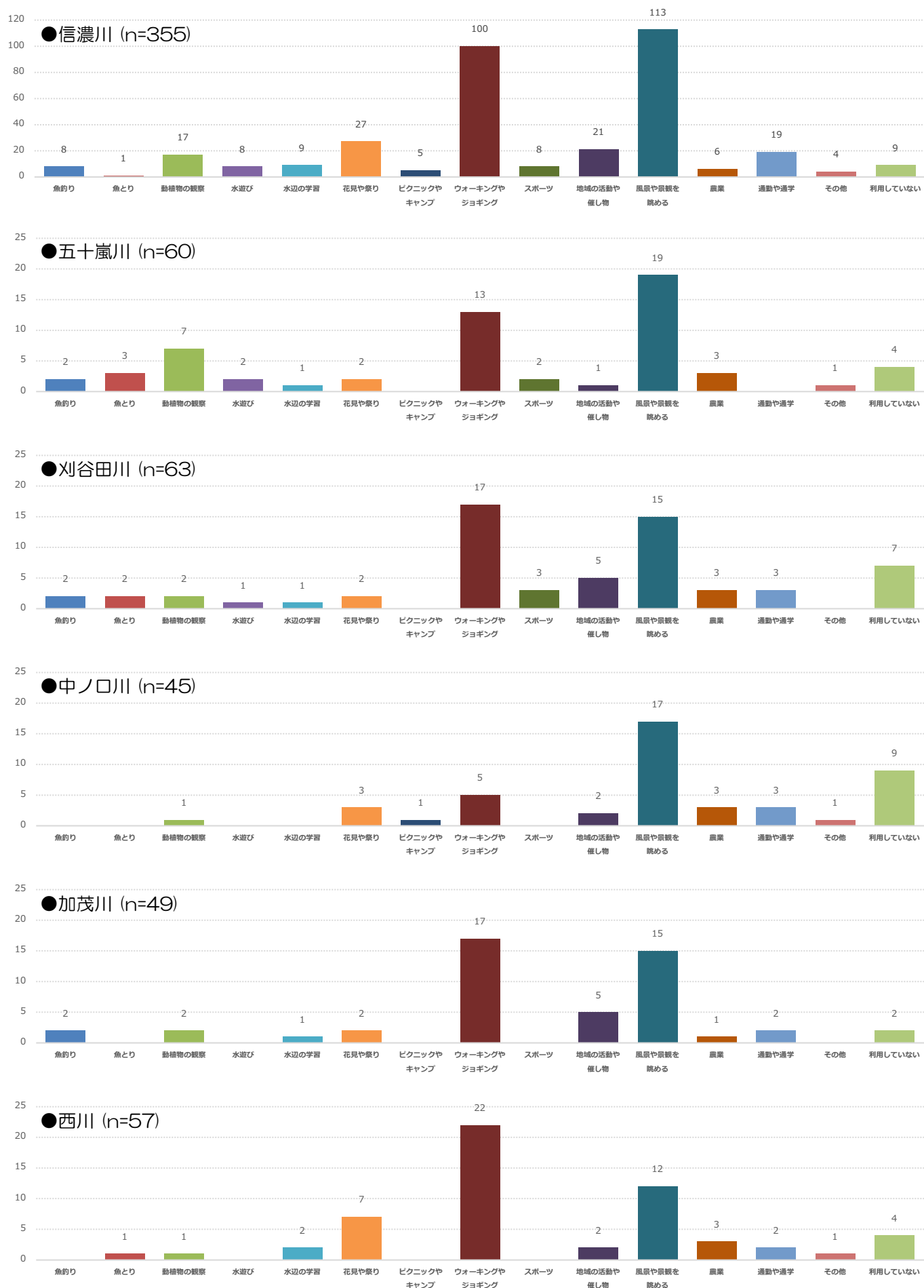


身近な川やその周辺が好きか  
(n=471)



身近な川やその周辺の利用目的/全体 (n=960)

#### 4-1.川づくりアンケート

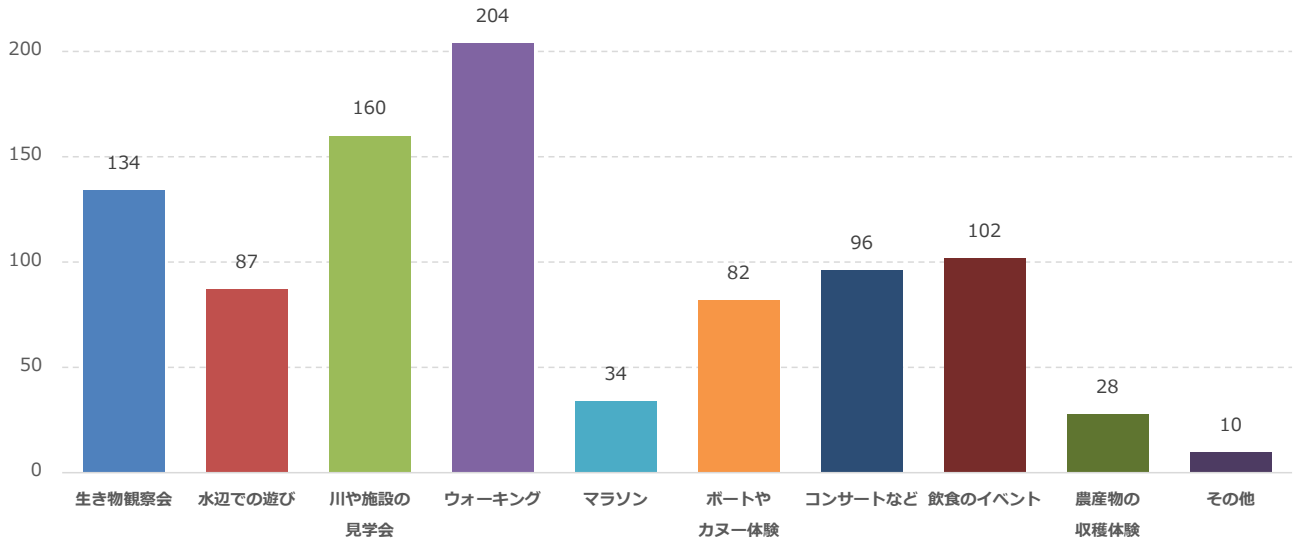


身近な川やその周辺の利用目的/河川別

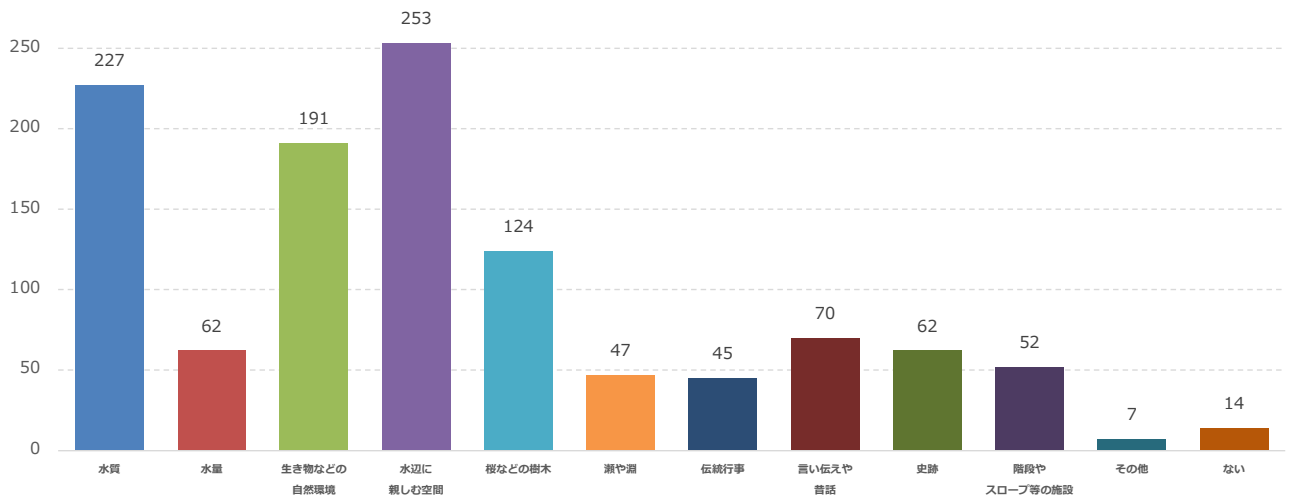


## 2-1.身近な川の未来

身近な川で残したいもの・復活させたいものは「水辺に親しむ空間」「水質」「生き物などの自然環境」が上位を占めました。また、開催を希望するイベントでは「ウォーキング」「川や施設の見学会」「生き物観察会」が上位を占めています。

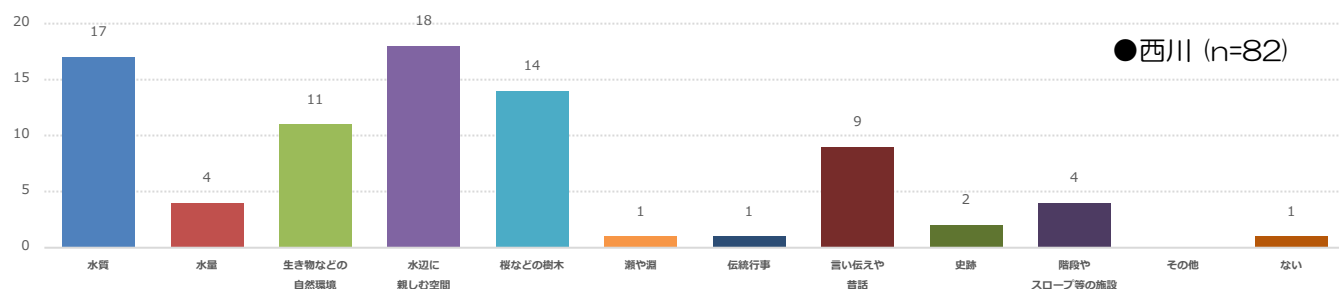
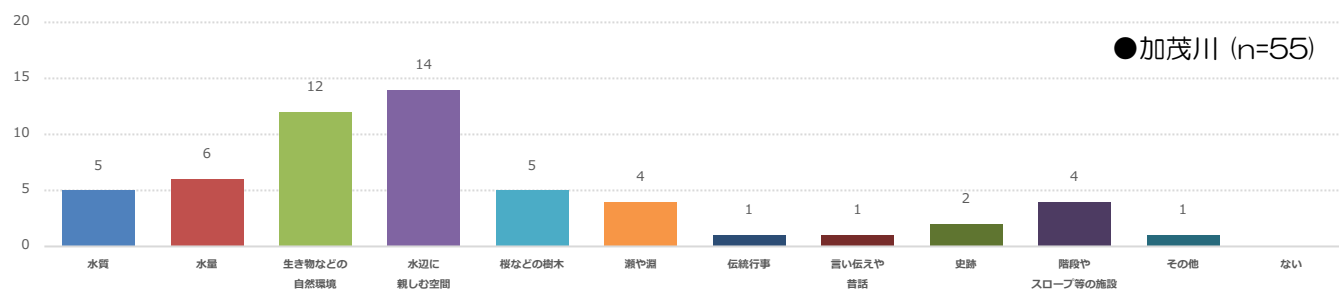
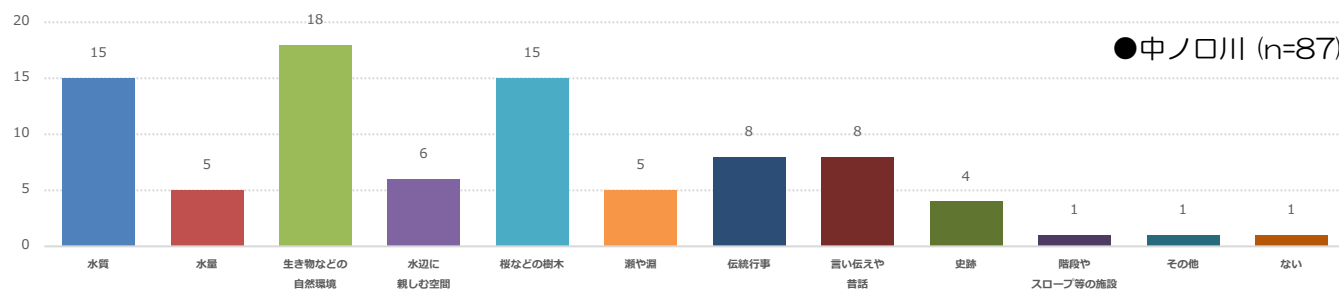
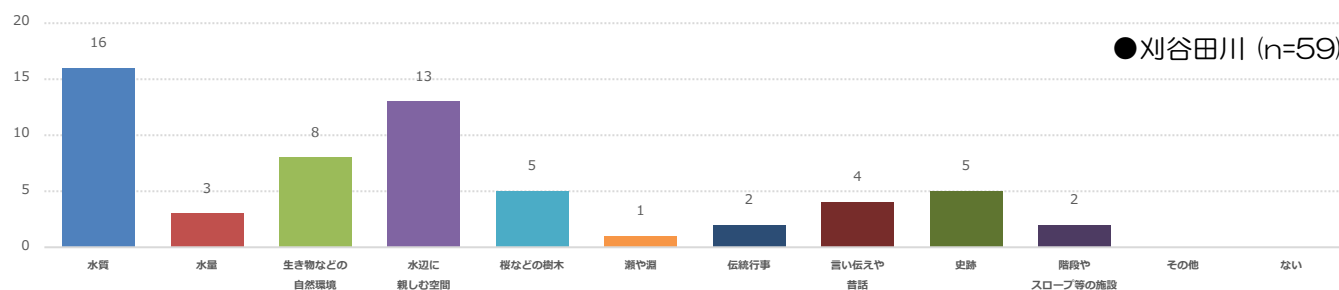
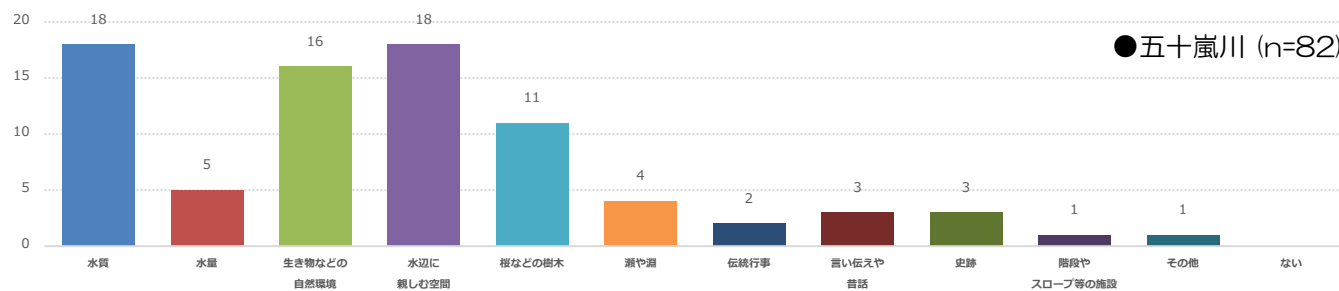
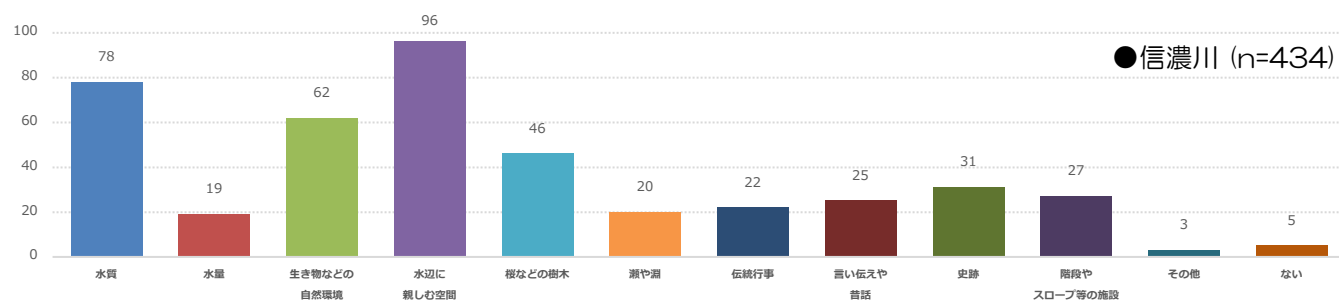


身近な川やその周辺でどのようなイベントがあったら良いか (n=937)



身近な川やその周辺で残したい、復活させたいもの/全体 (n=1154)

#### 4-1.川づくりアンケート



身近な川やその周辺で残したい、復活させたいもの/河川別



河川名	今後の取り組みのご意見
信濃川	<p>【川の安全性の強化と自然環境の両立】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魚やホタルなどが生きていける自然環境を大切にしていくこと。整備しすぎずに管理していくことが重要。</li> </ul> <p>【水辺の環境を守るイベントの実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川岸の草刈りなど。川の景観が守られ、水辺が見えるようになる。</li> <li>・川を清潔に美しくゴミの無いうように、公共の施設として有効に使用する。市民全員が川を守るという意識づくり。</li> </ul> <p>【観光としての水辺の利活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・樹木を多く植え、日陰を作ることにより歩きたくなるやすらぎ堤となる。河川区域内にカフェができる場所をつくり、富山のようになるといいなと思う。</li> <li>・新潟は水の都。かつては西堀、東堀があり様々な「潟」があった。ラムサール条約にも制定されやっとなった川や潟をもっと県外の人に知ってもらいたい。観光の目玉の一つにならと思う。</li> <li>・7月7日川の日に関内各地で川に感謝し、川に学び、川に親しむ行事・催しを開催すると良い。信濃川縦断ウォーク、エコウォークイベント、SDGsと絡めた食・健康づくり・自然との共生・交流人口増等、日本一の大河を有する新潟県ならではのイベントを。</li> </ul> <p>【水辺に親しむ機会の創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供の頃に川に親しんだ記憶が、大人になってからも残っている。子供が川に親しめるような取り組み（生き物観察会、川の工事の重機を見る見学会など、興味を持てるようなもの）が重要だと思う。</li> </ul>
五十嵐川	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民を巻き込んだ手入れやイベントの開催。</li> </ul>
刈谷田川	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川に行きたくなる仕掛けがほしい。</li> <li>・川の水が綺麗になってほしい。安全を保ちつつ、自然に近い昔のような川。</li> </ul>
中ノ口川	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もう少し中ノ口川を大事にしてほしい。</li> <li>・多くの方々に関心を持ってもらえるように遊歩道の整備や鳥、花の案内があれば良い。</li> </ul>
加茂川	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者や家族連れが参加したくなるようなイベントをしてほしい。</li> </ul>
西川	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川環境の保全が確認できるような情報を発信してほしい。</li> </ul>
早出川	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供が安全に遊べる水辺を整備してほしい。</li> </ul>

アンケートに記入いただいた各河川における今後の取り組みのご意見の例

# 02

## メッセージプロジェクト

歴史的な節目となる周年事業の周知と大河津分水の認知度を高めるため、大河津分水メッセージプロジェクトは始動しました。多くの人に大河津分水が担う役割を知ってもらい、感謝の想いやメッセージを寄せていただきました。多くの人々が周年事業に関わったこと、地域の人々の繋がりがあったことを形として残し、大河津分水に関心を寄せるきっかけになればという願いも込められていたメッセージプロジェクト。撮影にあたり多くの皆様からのご理解・ご協力をいただきました。ありがとうございました！



### 撮影用ボード



メッセージプロジェクトで使用していたボードは「ありがとう大河津分水！」「スゴいぜ大河津分水！」など全部で4種類。好みのメッセージを選んで撮影いただきました。



※現在は設置されていません。

### 信濃川大河津資料館に 記者会見ボードが登場！

100周年ロゴをあしらったオリジナルの記者会見ボードを設置。信濃川大河津資料館を訪れた皆さまに、ボードの前で大河津分水への想いを掲げた記者会見風の写真を撮ってお楽しみいただきました。





## 写真・動画公開中

★撮影したメッセージ写真・動画はHPにも掲載しています！



100thHPへ  
<https://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/ohkouzu100th/ohkouzu100th.html>

## メッセージ写真

地元の方を中心に、多くの方から大河津分水への想いを寄せていただいた大河津分水メッセージプロジェクト。多くの皆様と一緒に記念すべき100周年をお祝いすることができました。越後平野を洪水から守り続けている大河津分水へ寄せられた感謝のメッセージを、ぜひご覧ください。



分水まちづくり協議会



長岡市立大河津小学校



燕市立分水小学校



NCT



クリーン大作戦参加者



NPO法人ふるさと来創造堂



燕市教育委員会



切り文字屋オッケイ株式会社



燕ジョイ活動部



北陸地方整備局



石濱里奈さん



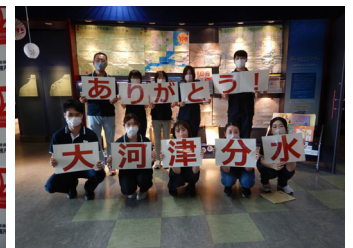
NST松尾アナウンサー



分水商工会女性部



全日本建設技術協会

三条地域おこし協力隊・  
株式会社マグネット

株式会社新越ワークス



新潟日報社



新潟市歴史博物館講座



燕市民



燕・弥彦倫理法人会



## 4-2.メッセージプロジェクト



燕市役所



グロービス経営大学院



遠方記者



青葉台コミュニティセンター



大河津分水の日



大河津分水の日



可動堰オープン



本宮宏美さん



燕市立分水中学校



お菊さん・宮村さん・  
さとちゃん



NHK



サクスフェスタ関係者



サクスフェスタ来場者



サクスフェスタ来場者



サクスフェスタ来場者



サクスフェスタ来場者



サクスフェスタ来場者



サクスフェスタ来場者



サクスフェスタ来場者



サクスフェスタ来場者



サクスフェスタ来場者



サクスフェスタ来場者



BEEPRESSO cafe



BIKAKUTILLA





hoihoi



KAWSEスポーツ



kei&Qto



LaLacia



MIMI



RIM



あかり



キナレヤ



くまとうさぎ



ソライロ



どろんこ塾



ハッチナーセリー



バンビニ



ふじまる



ベルジュ



やきとりあんちゃん



レーザー彫刻PLEASURES



燕三条地場産業振興センター



燕市観光協会



結び



新潟バインミーサンドイッチ



大河津分水魅力発信  
プロジェクト



分水商工会



味彩燕





上杉香緒里さん



信濃川河川事務所職員



信濃川大河津資料館友の会



中静祐介さん



令和の大改修JV



長岡市立大河津小学校



TOJIRO



燕市鈴木市長



吉田織物齋藤社長



メッセージプロジェクト撮影チーム



長生橋の会



弥彦村立弥彦小学校



新潟県立大学



お天気教室参加者

## メッセージ動画

メッセージ動画をYouTubeにて公開しています。各インタビューの他、100周年へ向けた数々の取り組みをまとめたメッセージプロジェクト完成版動画もご覧いただけます。



大河津分水のアニメを制作。洗堰、可動堰をモチーフにしたキャラクター達が大河津分水のしくみを分かりやすく紹介します。



燕市立分水小学校 5年生



信濃川・魚野川総合水防演習



大河津分水桜並木来訪者

大河津分水



やすらぎ堤来訪者

新潟市やすらぎ堤







大河津分水桜並木来訪者

大河津分水



大河津分水桜並木来訪者

大河津分水



株式会社つくる 山田 立

株式会社つくる



FactoryFront 北澤 嘉奈恵

FactoryFront



燕市消防団第一方面隊長

信濃川・魚野川総合水防演習



長岡市消防団中之島方面隊長

信濃川・魚野川総合水防演習



燕市立分水小学校 6年生

信濃川・魚野川総合水防演習



やすらぎ堤来訪者

新潟市やすらぎ堤



やすらぎ堤来訪者

新潟市やすらぎ堤



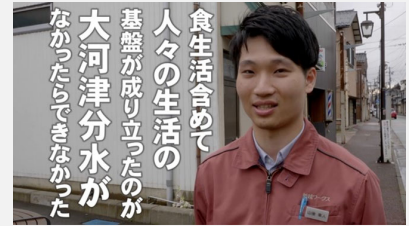
燕市立分水小学校長

信濃川・魚野川総合水防演習



ウオヌマン

信濃川・魚野川総合水防演習



株式会社新越ワークス 山後 隼人

株式会社新越ワークス



やすらぎ堤来訪者

新潟市やすらぎ堤



やすらぎ堤来訪者

新潟市やすらぎ堤



燕・弥彦消防団隊員

信濃川・魚野川総合水防演習







信濃川大河津資料館来館者

大河津分水



信濃川大河津資料館来館者

大河津分水



信濃川大河津資料館来館者

大河津分水



燕市立分水小学校児童

信濃川・魚野川総合水防演習



信濃川大河津資料館友の会

大河津分水



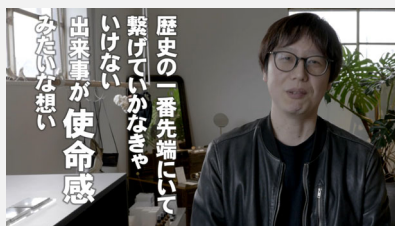
信濃川大河津資料館友の会

大河津分水



信濃川大河津資料館友の会

大河津分水



株式会社MAGNET 武田 修美

株式会社MAGNET



株式会社エコロジーサイエンス

大河津分水



宝光院 解良 節子

宝光院



信濃川河川事務所長 今井 誠

大河津分水



長岡造形大学 金 峯洙

長岡造形大学



長生橋を愛する会 渡辺 千雅

長生橋付近



新潟市長 中原 八一

やすらぎ堤



燕市長 鈴木 力

燕市役所









# 01

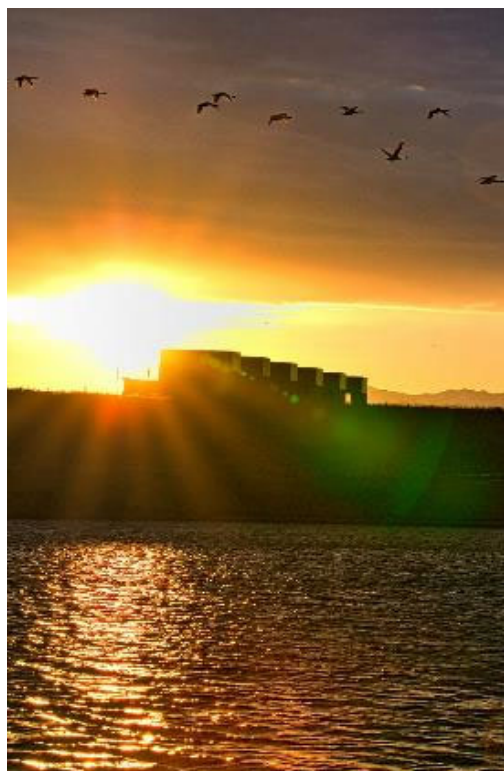
## 写真 コンテスト

我々の暮らしに恵みと安らぎをもたらす日本一の大河 信濃川。越後平野を長きにわたり守り続ける 大河津分水。日ごろの生活の中では何気なく見過ごしがちなその魅力を多くの人に知っていただきたく、令和4(2022)年の7月から9月にかけて写真を募集しました。信濃川下流部門、信濃川中流及び魚野川部門、大河津分水部門、ジュニア部門の4部門で合計161点の応募をいただきました。

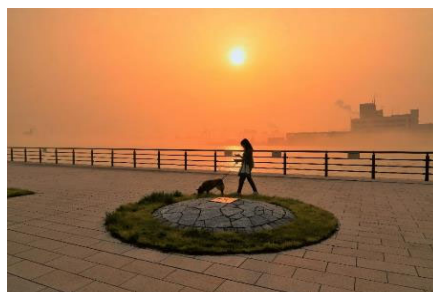
応募作品の中から審査によって選ばれた23点の入賞作品は各市町村に巡回して展示されました。作品を通して、新たな発見がもたらされれば幸いです。



グランプリ  
大河津分水部門 最優秀賞  
「輝きの門番」  
長谷川 繁雄



信濃川下流部門 最優秀賞  
「光のハーモニー」  
中野 金吾



信濃川中流及び魚野川部門最優秀賞  
「少年の梅雨明け」  
長谷川 繁雄



ジュニア部門 最優秀賞  
「悪霊退治」  
荻 朱里



入賞作品公開中



★信濃川河川事務所  
HPをご覧ください！





優秀賞  
「夜明けに染まる」  
中野 金吾



新潟日報社賞  
「灯籠流し」  
渡邊 隆



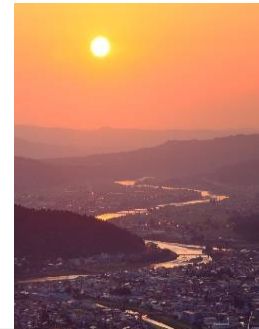
新潟フジカラー賞  
「新潟慕情」  
高橋 隆二



優秀賞  
「春近し」  
今井 一治



新潟日報社賞  
「これならよく見えるだろ」  
星 正太郎



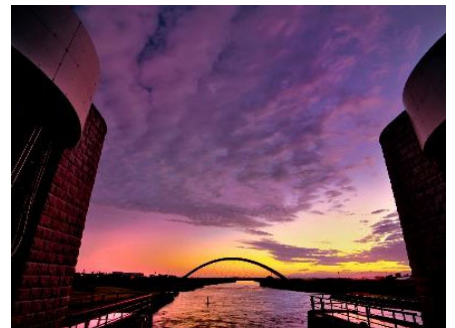
新潟フジカラー賞  
「魚野川沈む夕日」  
今井 一治



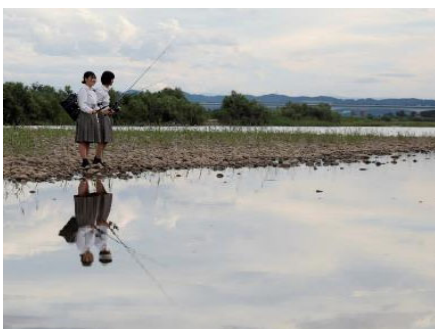
優秀賞  
「分水魂」  
松田 浩明



新潟日報社賞  
「祝 通水100周年おめでとう！」  
堀 利治



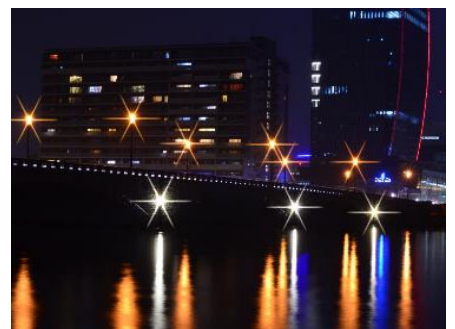
新潟フジカラー賞  
「あざやかな場面」  
長谷川 繁雄



優秀賞  
「釣り場を間違えた釣り人」  
西山 竜毘



新潟日報社賞  
「夏の終わり」  
金山 芽依



新潟フジカラー賞  
「光の造形」  
中野 稜太



入選  
「関屋分水通水50周年」  
高橋 隆二



入選  
「川縁のランタン飛ばし」  
真水 進



入選  
「モーニングサンシャイン」  
今井 一治



入選  
「雪の贈り物」  
星野 宗一



入選  
「大河にふりそそぐ」  
田邊 稔



入選  
「宇宙」  
外山 満



入選  
「修行」  
新保 沙也花

記念すべき年に素晴らしい写真が集まったのではないかなと思います。下流の人々の生活の中に入り込んでいる信濃川、中流の豊かな自然を育む信濃川、越後平野を守る大河津分水と関屋分水。それらがあるおかげで、我々の生活が送れているということがよく分かる写真が多かったように思います。

総評/新潟県写真家協会 会長 山田 努





## 02

イベントリスト  
大河津分水

100周年事業は、講演会や展示会などの文化的事業、通水再現式や田んぼアートのような体験型事業、飲食等を伴うフェスティバル事業など多岐にわたりました。大河津分水通水100周年・関屋分水通水50周年記念未来につながる事業実行委員会が主体として行った事業、信濃川河川事務所が主体として行った事業をメインにリストを作成しました。



No.	事業名	概要	期日・期間	会場	主催者
1	あの山を拓くYouTube公開	オリジナル動画の公開	令和3年4月1日	-	信濃川河川事務所
2	ミッションウォーキング	大河津分水周辺を謎解きしながら周遊	令和3年4月4日 ～4月16日	大河津分水	Love River Net
3	記念スイーツ販売	学生のアイデアを地元企業がスイーツ化	令和3年4月9日 ～4月11日	燕市内	燕市役所まちあそび部、さかたや
4	大河津分水通水100周年記念品開発補助金	燕市内企業において製品開発と販売促進支援事業	令和3年6月1日 ～6月30日	燕市内	燕市
5	大河津神社の設置	自作神社と通水石のガチャを配置し大河津分水を啓発	令和3年8月11日 ～8月31日	燕三条Wing	新潟経営大学
6	通水100周年ブースの設置	燕市と連携しヤクルト戦の球場に啓発ブースを設置	令和3年8月15日	新潟市エコスタ	信濃川河川事務所
7	川柳コンテスト	Twitterでの川にちなんだ川柳コンテスト	令和3年8月25日	-	燕市
8	第1回燕大学	「東洋一の工事大河津分水」 講師は樋口勲氏	令和3年8月27日	燕市内 分水公民館	燕市
9	川のスポット・愛称募集	信濃川とその周辺のおすすめスポット等募集 大河津資料館・関屋分水資料館の愛称募集	令和3年9月1日 ～12月19日	新潟県内	実行委員会
10	100周年・50周年 周年事業周知パネル展	大河津分水と関屋分水の歴史・恩恵周知のパネル展	令和3年9月1日 ～12月19日	新潟県内	実行委員会
11	通水100周年ブースの設置	燕市と連携しアルビレックス新潟の試合で缶バッジ等を配布	令和3年9月11日	新潟市ビッグスワン	信濃川河川事務所
12	第2回燕大学	「高橋竹之輔と北越治水策」 講師は新潟県立歴史博物館 学芸員 田邊幹氏	令和3年9月25日	燕市内	燕市
13	第3回燕大学	「大河津分水に尽力した長善館の門下生たち」 講師は燕市長善館史料館 館長 横山文一氏	令和3年10月2日	燕市内	燕市
14	100周年フラッグPR	アルビレックス新潟戦ハーフタイムで大フラッグを紹介し大河津分水をPR	令和3年10月9日	新潟市ビッグスワン	燕市
15	恵弁当販売	通水100周年記念弁当の開発・販売	令和3年10月20日～	-	よね蔵グループ
16	堰ライトアップ	可動堰・洗堰のライトアップ	令和3年11月13日 ～11月23日	大河津分水	信濃川、工事連絡協議会
17	新潟プレミアムダイニング	資料館4F展望室をレストランに装飾し大河津分水の恵みを味わうディナー	令和3年11月21日	資料館	ツバメクロスアクションズ
18	学習成果ポスターの贈呈	新潟県庁、関屋分水資料館へ島上小児童作成のポスターの贈呈式挙行	令和3年12月7日	新潟市内 県庁、関屋分	信濃川河川事務所
19	新潟駅大型広告	新潟駅西側連絡通路に大河津分水・関屋分水のロゴマークを掲示	令和3年12月16日	新潟駅	実行委員会
20	放水路講座第1回	「自然観と放水路開削の意義」	令和4年1月30日	新潟市西区	越後新川まちおこしの会
21	第1回分水講演会	「中之島の先人達と大河津分水の恩恵」 講師は高森精二氏	令和4年2月5日	オンライン	実行委員会
22	放水路講座第2回	「落掘川開削から300年」	令和4年2月6日	新潟市西区	越後新川まちおこしの会
23	第2回分水講演会	「大河津分水と彌彦神社」 講師は田邊幹氏	令和4年3月5日	オンライン	実行委員会
24	放水路講座第3回	「新川開削から200年」	令和4年3月6日	新潟市西区	越後新川まちおこしの会
25	第3回分水講演会	「田上町と信濃川の治水」 講師は樋口勲氏	令和4年3月27日	田上町 福祉センター	実行委員会
26	資料館特別展大河津分水の桜	大河津分水の桜に関する展示	令和4年3月29日 ～4月24日	資料館	信濃川河川事務所
27	JR東日本デジタルスタンプラリー	大河津分水、信濃川発電所を巡る	令和4年4月1日 ～9月25日	信濃川中流	信濃川河川事務所 JR東日本
28	100周年事業パネル展	大河津分水と関屋分水の歴史・恩恵周知のパネル展	令和4年4月1日 ～令和5年3月31日	新潟県内	実行委員会
29	第4回分水講演会	「大河津分水と桜と私」 講師は遠藤麻理氏	令和4年4月2日 14:00～15:30	燕市分水公民館	実行委員会
30	田沢実入モニュメント建立	田沢実入顕彰会設立に伴うモニュメントの除幕	令和4年4月2日 10:00～11:00	新潟市南区	にいがたデジタルコンテンツ協議会
31	堰ライトアップ春	洗堰、可動堰、旧可動堰のライトアップ	令和4年4月4日 ～4月17日	大河津分水	信濃川河川事務所 工事連絡協議会
32	つばめ桜まつり	分水おいらん道中、桜のライトアップ等	令和4年4月4日 ～4月17日	燕市内	燕市観光協会
33	ARスタンプラリー	燕市内の桜の名所を巡るスタンプラリー	令和4年4月4日 ～4月17日	燕市内	燕市観光協会
34	スタンプアートde100周年	スタンプを使用し、100ロゴを完成させる	令和4年4月5日 ～4月17日	資料館	信濃川大河津資料館友の会
35	ミッションウォーキング	大河津分水周辺を謎解きしながら周遊	令和4年4月5日 ～4月17日	大河津周辺	Love River Net
36	資料館夜間開放・春	夜桜ライトアップに合わせて20:00まで開館	令和4年4月8日 ～4月9日	資料館	信濃川河川事務所
37	燕の100年展	100年前の燕や大河津分水を写真や地図で紹介	令和4年4月8日 ～5月15日	燕市産業史料館	燕市産業史料館
38	ダンブでサクラ	ダンブカーの2台から観桜	令和4年4月9日	大河津分水	Love River Net
39	お茶を楽しむ会	資料館4F展望室から大河津分水を眺めながら抹茶を提供	令和4年4月10日 13:30～16:00	資料館	信濃川大河津資料館友の会
40	放水路講座第4回	「西蒲原地域の排水事業」	令和4年4月10日	新潟市西区	越後新川まちおこしの会

## 5-2.イベントリスト 大河津分水

No.	事業名	概要	期日・期間	会場	主催者
41	資料館休館日開放-春	休館日の臨時開館	令和4年4月11日	資料館	信濃川河川事務所
42	燕さくらマラソン大会	通水100周年のPRブース設置	令和4年4月16日	大河津分水	燕市
43	クリーン作戦	殉職之碑清掃と大河津分水のゴミ拾い	令和4年4月16日 14:00～15:00	大河津分水	信濃川河川事務所 燕市
44	桜の植樹	燕市役所まちあそび部による植樹	令和4年4月16日 15:00～15:45	大河津分水	燕市
45	モルック体験会	ニュースポーツモルックの体験会	令和4年4月16日 15:45～16:30	大河津分水	燕市
46	分水おいらん道中	雨天のため体育館での実施	令和4年4月17日	分水体育館	つばめ桜まつり実行委員会
47	第5回分水講演会	「大学生と地域の協働による大河津分水の魅力発信」	令和4年4月23日	加茂市産業センター	実行委員会
48	大河津分水殉職者慰霊式	殉職之碑を前に献花	令和4年4月23日	大河津分水	信濃川河川事務所
49	河岸段丘ウォークでのパネル展示	ウォーキングイベントでの100周年パネル展示	令和4年4月29日	信濃川中流	信濃川河川事務所
50	JR東日本駅舎での映像上映	大河津分水の映像上映	令和4年4月～	新潟県内	信濃川河川事務所
51	インスタフレーム	リアルフレームによる撮影・SNS発信喚起	令和4年4月	大河津分水	信濃川河川事務所
52	燕市ミュージアムバスポート	燕市内の4つの資料館を巡るスタンプラリー	令和4年4月 ～令和5年3月31日	燕市内	燕市
53	大河津分水通水100周年田んぼアート	大河津分水をイメージさせる田んぼアート	令和4年5月14日 ～10月8日	燕市内 分水・吉田地	燕市
54	第6回分水講演会	「大河津分水を巡る 三条周辺の動き」 講師は三条歴史研究会羽賀氏	令和4年5月14日	三条東公民館	実行委員会
55	放水路講座第5回	「大河津分水」 講師は信濃川河川事務所長	令和4年5月15日	新潟市西区	越後新川まちおこしの会
56	第7回分水講演会	「激甚化する 気象災害に備えて」 講師は気象予報士井田氏	令和4年5月22日	五泉市福祉会館	実行委員会
57	フレ水防演習	水防演習の練習会	令和4年5月22日	大河津分水	信濃川河川事務所
58	令和元年出水展示	水防演習に合わせてパネル展示	令和4年6月1日 ～7月18日	資料館	信濃川河川事務所
59	大河津通水100周年と関屋分水50周年展示	2つの分水通水の周年を記念したパネル展示	令和4年6月2日 ～6月26日	新潟市中央図書館	新潟市
60	VRコンテンツのキャラクター募集	郵送またはメールでの募集、分水を象徴するもの	令和4年6月3日 ～6月19日	オンライン	新潟市
61	第8回分水講演会	「川に学ぶ・ふるさとを知る」 講師は三条市立第四中学校元校長五十嵐氏	令和4年6月4日	見附市中央公民館	実行委員会
62	母なる大河信濃川に親しもう	自然観察会、舟遊び体験、ドローン飛行等	令和4年6月4日	長岡市	長岡市緑地協会
63	水防演習	北陸管内大規模水防演習	令和4年6月5日	大河津分水	信濃川河川事務所
64	放水路講座第6回	「関屋分水」 講師信濃川下流河川事務所長	令和4年6月19日	新潟市西区	越後新川まちおこしの会
65	第9回分水講演会	「2つの分水と新潟の発展」 講師はみなとびあ前館長の伊東祐之氏	令和4年6月25日	新潟市万代市民会館	実行委員会
66	無線局の開設	大河津分水 通水100周年・関屋分水 通水50周年記念 特別局開設	令和4年6月27日 ～9月30日	新潟県内	日本アマチュア無線連盟新潟県支部
67	燕手仕事展	通水100周年を記念し「水・流れ」といったテーマの作品も	令和4年6月30日	燕市産業史料館	燕市産業史料館
68	大河津分水観光ツアー造成	地域を守り続ける大河津分水の歴史や偉大さを学ぶツアー	令和4年6月	-	燕市観光協会
69	佐川急便営業車100周年ステッカーPR	大河津分水通水 100 周年ステッカーを佐川急便の営業車両に貼り付け PR	令和4年7月7日 ～	新潟県内	燕市
70	6館リレー展良寛史料館	「良寛の生きた時代と大河津分水へつなぐ良寛のころ」	令和4年7月12日 ～8月28日	燕市分水良寛史料館	燕市分水良寛史料館
71	6館リレー展長善館	「大河津分水建設に情熱を注いだ門下生と長善館の教え」	令和4年7月12日 ～8月28日	燕市長善館史料館	燕市長善館史料館
72	6館リレー展みなとびあ	「大河津分水・関屋分水と新潟市」	令和4年7月17日 ～8月28日	みなとびあ	新潟市歴史博物館
73	大河津分水生き物観察会	体験用水路で親子で生き物観察	令和4年7月23日	大河津分水	信濃川大河津資料館友の会
74	6館リレー展信濃川大河津資料館	「100年前の大河津分水工事」	令和4年7月26日 ～9月25日	資料館	信濃川河川事務所
75	大河津分水ウォーキングツアー	リレー展開連事業-大河津分水見学会	令和4年7月29日	大河津分水	新潟市歴史博物館
76	探せ！ゴーストクラブ	リレー展開連事業-生き物観察会	令和4年7月30日	寺泊中央海水浴場	長岡市立科学博物館
77	第1回燕大学	「大河津分水と桜」 講師は樋口勲氏	令和4年7月30日 10:00～11:30	燕市内	燕市
78	大河津分水親子講座	親子で大河津分水を楽しむ講座	令和4年7月31日	燕市分水公民館	燕市立吉田図書館
79	オリジナルショップバッグ制作	大河津分水デザインのバッグを燕市内のイベント等で配布	令和4年8月1日～	燕市内	燕市
80	図書館での特設コーナー設置	県立図書館所蔵の大河津分水や河川に関するさまざまな資料を市内3館で巡回展示	令和4年8月2日	燕市内	燕市
81	大河津分水生き物観察会	体験用水路で親子で生き物観察	令和4年8月6日	大河津分水	信濃川大河津資料館友の会
82	川学習冊子の配布	信濃川の副読本を信濃川大河津資料館HPに掲載	令和4年8月10日～	-	信濃川河川事務所
83	堰ライトアップ夏	洗堰、旧洗堰、可動堰、旧可動堰のライトアップ	令和4年8月20日 ～8月28日	大河津分水	信濃川河川事務所 工事連絡協議会
84	開運なんでも鑑定団公開収録	大河津分水100周年に合わせた人気長寿番組の公開収録	令和4年8月20日	燕市中央公民館	燕市
85	資料館休館日開放-夏	休館日の臨時開館	令和4年8月22日	資料館	信濃川河川事務所
86	ICTで100文字	ICTにより河川敷に「100」の盛土を形成	令和4年8月25日	大河津分水	信濃川河川事務所
87	可動堰ゲートオープン	可動堰のゲート開放	令和4年8月25日	大河津分水	信濃川河川事務所
88	資料館夜間開放-夏	堰のライトアップに合わせて20:00まで開館	令和4年8月25日 ～8月27日	資料館	信濃川河川事務所
89	防災無線で100周年周知	燕市防災無線で今日は100周年ですをアナウンス	令和4年8月25日	燕市内	燕市
90	灯ろう飾り	分水小による手作り灯ろうの設置	令和4年8月25日	大河津分水	燕市立分水小学校
91	川柳コンテスト	Twitterでの川にちなんだ川柳コンテスト	令和4年8月25日	-	燕市
92	100周年記念花火	大河津分水で打ち上げ花火	令和4年8月27日	大河津分水	燕市
93	プレミアムキッチン	可動堰にて大河津分水を眺める臨時ダイニング	令和4年8月27日	可動堰	ツバメクロスアクションズ



No.	事業名	概要	期日・期間	会場	主催者
94	つばめるしえ	露店やキッチンカー等での飲食販売	令和4年8月27日	大河津分水	燕市
95	大河津神社の設置	自作神社と通水石のガチャを配置し大河津分水を啓発	令和4年8月27日	大河津分水	新潟経営大学
96	サンクスフェスタ	風合戦、水鉄砲合戦、クラフト体験等のフェス	令和4年8月27日	大河津分水	燕市
97	Eポート	信濃川を川から眺める乗船体験	令和4年8月27日	信濃川	燕市
98	桜並木復活プロジェクト	通水時の盛花復活を願い記念桜の植樹祭を実施	令和4年8月27日	大河津分水	燕市
99	お茶を楽しむ会	4F展望室にて抹茶をふるまう	令和4年8月27日	資料館	信濃川大河津資料館友の会
100	第2回燕大学	「長善館の門下生と大河津分水」 講師は筑波大学助教 田中友香理氏	令和4年8月27日 13:30～15:00	燕市内	燕市
101	まち歩きと語りで振り返る	「大水害から白根を守った439俵の米俵」	令和4年9月3日	割烹金長	新潟市南区観光協会
102	笛人本宮宏美ふるさとコンサート2022	大河津分水通水100周年記念楽曲披露	令和4年9月4日	燕市文化会館大ホール	オトノハコ
103	6館リレー展長岡市立科学博物館	「大河津分水が創り出した自然 -分水誕生は沿岸地域の自然をどう変えたの	令和4年9月6日 ～10月30日	長岡市立科学博物館	長岡市立科学博物館
104	大河津分水生き物観察会	体験用水路で親子で生き物観察	令和4年9月17日	大河津分水	信濃川大河津資料館友の会
105	浜辺の生き物探索会	リレー展開連事業-生き物観察会	令和4年9月23日	寺泊中央海水浴場	長岡市立科学博物館
106	酒呑童子行列	通水100周年記念グッズ販売	令和4年9月25日	国上	燕市
107	長生橋構造見学会	長生橋の構造、歴史、信濃川について学ぶ見学会にて缶バッジを配布	令和4年9月25日	長生橋東詰	長生橋を愛する会
108	地図展2022新潟市へ新潟市から	大河津分水・関屋分水の通水と新潟の街並みの移り変わりを地図で紹介	令和4年9月27日 ～10月5日	新潟県民会館	国土地理院北陸地方測量部
109	分水と新潟のまち	大河津分水と関屋分水の講演会	令和4年10月2日 13:30～15:45	新潟県民会館	国土地理院北陸地方測量部
110	声優朗読劇 遺志	大河津分水実現と長善館門下生の活躍を描く	令和4年10月2日 15:00～	燕市文化会館	燕市
111	石碑が語りかける100年！ ～大河津分水関連石碑拓本展～	大河津分水路に関連する石碑等の拓本を展示	令和4年10月4日 ～11月23日	資料館	分水さくらを守る会
112	資料館特別展「大河津分水の石碑」	拓本や石膏など石碑にまつわる資料の展示	令和4年10月4日 ～11月27日	資料館	信濃川河川事務所
113	大河津分水通水100周年記念グッズ展	大河津分水通水100周年にまつわる記念グッズの展示	令和4年10月4日 ～11月27日	資料館	信濃川河川事務所
114	燕三条 工場の祭典2022	三条市・燕市全域及び周辺地域の、ものづくりの現場を見学・体験できるイベントにて大河津分水をイメージした田んぼアートの稲刈り体験会	令和4年10月7日 ～10月9日	三条市内・燕市内	燕三条 工場の祭典 実行委員会
115	田んぼアート稲刈りイベント	大河津分水をイメージした田んぼアートの稲刈り体験会	令和4年10月8日	燕市内	燕市
116	第3回燕大学	「長善館と松村塾」講師は萩博物館総括学芸員 道迫真吾氏、燕市長善館史料館 館長 横山	令和4年10月15日 10:00～11:30	燕市内	燕市
117	分水高校40周年記念ディスカッション	大河津分水に関するパネルディスカッション	令和4年10月15日 10:00～12:00	分水高校	新潟県立分水高校創立40周年実行委員会
118	分水小学校区保健推進委員企画講演会	「大河津分水から未来を考えてみる」	令和4年10月15日 13:45～15:15	分水総合体育館	燕市保健推進委員協議会
119	信濃川大河津資料館友の会講演会	治水にまつわる最近の話題、越後平野の成り立ちと大河津分水	令和4年10月15日 14:00～16:30	燕市分水公民館	信濃川大河津資料館友の会
120	大河津分水河口沿岸地のスナガニの生態	リレー展開連事業-講演会	令和4年10月22日	寺泊文化センター	長岡市立科学博物館
121	学校記念給食メニュー	大河津分水の川の恵みの食材を活かした記念メニュー提供	令和4年10月25日	燕市内	燕市
122	南区秋の実り感謝イベント事業での講演	「大河津分水と南区のこと」	令和4年10月30日	新潟市アグリパーク	南区秋の実り感謝イベント実行委員会
123	「郷土史燕」第16号 大河津分水を語り継ぐ	大河津分水に関する資料や手記を募集	令和4年10月31日	-	燕市教育委員会社会教育課
124	川の博士と楽しく学ぼう！わくわくお天気・防災教室	東大知花教授を講師に子供向け防災教室	令和4年11月12日	大河津出張所	わくわくお天気・防災教室
125	6館リレー展新潟県立歴史博物館	「信濃川の治水と大河津分水」	令和4年11月12日 ～令和5年1月15日	新潟県立歴史博物館	新潟県立歴史博物館
126	長善館学習塾-閉講式	小学生が大河津分水の動画を制作・コンテスト出品	令和4年11月23日	燕市内	燕市
127	分水サミット	濃川流域の9つの小学校が、川の大切さと川の未来について発表	令和4年11月26日	新潟市	実行委員会
128	記念シンポジウム	新潟の発展を支えてきた2つの分水の周年を祝う様々な事業を振り返り、また未来を考える	令和4年12月4日	新潟市	実行委員会
129	友の会河川文化講演会	「補修工事竣工記念碑に探る青山士の思い」	令和4年12月10日 15:00～16:00	燕市分水福祉会館	信濃川大河津資料館友の会
130	大河津分水・関屋分水紹介VR制作	インフラ、治水、新潟市の発展、食など4つの視点で動画を制作	令和4年12月14日～	-	新潟市
131	ものづくりみらい100年フォーラム展示	未来志向型経営をテーマにした展示	令和4年12月19日 ～令和5年1月14日	燕市内	燕市
132	ものづくりみらい100年フォーラム	未来志向型経営をテーマにした講演会	令和5年1月14日	燕市内	燕市
133	動画紹介コーナー設置	多様な動画を上映するコーナー	令和5年1月19日～	資料館	信濃川河川事務所
134	友の会作品展	友の会会員による100ロゴを象った作品展	令和5年1月24日 ～3月5日	資料館	信濃川大河津資料館友の会
135	燕市立分水小学校児童による展示解説動画	展示室のQRを読み取り分水小児童の動画を視聴	令和5年2月1日 ～3月31日	資料館	信濃川大河津資料館
136	燕市遺跡出土品展「大河津分水周辺の遺跡」	大河津分水通水100周年に合わせ大河津分水路周辺の遺跡の紹介と展示説明会を開催	令和5年3月4日 ～3月5日	燕市中央公民館	燕市
137	雨展	雨の恵みと災いを紹介する巡回展	令和5年3月7日 ～5月7日	資料館	信濃川河川事務所
138	メッセージプロジェクト	大河津分水ありがとう感謝ボードを掲げる記念撮影と住民等へのインタビュー	通年	大河津分水	信濃川河川事務所
139	自治体誌掲載	周年事業実行委員会の各自自治体広報誌に大河津分水や関屋分水を紹介	通年	-	実行委員会
140	出前講座	大河津分水や関屋分水をはじめ、学校の総合学習等をサポート	通年	-	実行委員会
141	土木学会SNS	土木学会国際センターSNSで大河津分水を2回/月発信	通年	-	土木学会
142	マーク展開	100周年ロゴマークを名刺・公用車等に掲出	通年	-	実行委員会
143	広報つばめでの大河津分水連載	400字程度の大河津分水コラムを毎月掲載	通年	-	燕市
144	寺泊支所だよりでの大河津分水連載	200字程度の大河津分水歴史資料紹介を隔月掲載	通年	-	長岡市

主な周年事業

# 03

## イベントリスト 関屋分水

関屋分水通水50周年事業においても多岐にわたる事業を行い、新潟大堰・信濃川水門のライトアップや、パネル展示・体験ブース設置などの各種イベントへの出店も行いました。信濃川下流河川事務所が主体として行った事業一覧を紹介します。

※大河津分水通水100周年・関屋分水通水50周年記念未来につながる事業実行委員会が主体として行った事業、及び2つの分水共通の主な事業については前のページをご覧ください。

No.	事業名	概要	期日・期間	会場
1	関屋分水通水50周年HP開設	通水50周年記念特設ホームページの開設	令和2年9月23日	—
2	関屋分水のシンボルマーク 募集開始	シンボルマークを一般公募	令和2年9月23日	—
3	関屋分水のシンボルマーク 決定	最優秀賞・優秀賞が決定し、表彰式を開催	令和3年3月23日	信濃川下流河川事務所
4	アルビレックス新潟ホームゲームイベントに出展	地震体験装置による地震体験、パネル展示	令和3年5月1日	デンカビックスワン
5	信濃川感謝祭 やすらぎ堤川まつりに出展	地震体験装置による地震体験、パネル展示	令和3年5月3日 ～5月5日	やすらぎ堤
6	コラボ出前講座	信濃川河川事務所と共同で出前講座を実施	令和3年7月12日	大島小学校
7	ミズベリング三条フェスに出展	降雨体験装置による降雨体験、パネル展示、災害対策車両の展示等	令和3年7月24日	三条防学習館
8	「知って欲しい関屋分水のこと」公開	オリジナル動画をYouTubeで公開	令和3年8月10日	—
		オリジナル動画を新潟日報メディアシップの220型大型ビジョンで公開	令和3年8月25日 ～9月30日	新潟日報メディアシップ
9	3施設パネル展示	新潟市西区の3施設においてパネル展示	令和3年10月1日 ～10月29日	なぎさふれあい広場、新潟市西区役所、内野まちづくりセンター
10	SiP×こども秘密基地に出展	パネル展示、グッズ配布等	令和3年10月16日	鳥屋野潟スポーツ公園
11	けんせつフェア北陸in新潟2021に出展	パネル展示、チラシ配布	令和3年10月20日 ～10月21日	新潟市産業振興センター
12	道の駅防災イベント～保内BOUSAIガーデン～に出展	パネル展示、チラシ配布	令和3年10月23日 ～10月24日	道の駅「保内」
13	せきぶん治水歴史ウォーク	関屋分水を歩きながら歴史や役割について学ぶ	令和3年10月24日	関屋分水資料館、関屋分水周辺
14	さんじょう消防・防災フェスタ2021に出展	地震体験装置による地震体験、パネル展示	令和3年10月31日	三条防災ステーション
15	「伝えたい関屋分水のものがたり」公開	オリジナル動画をYouTubeで公開	令和4年1月4日	—
16	「関屋分水 完成までのあゆみ」公開	建設当時の様子が分かる録画映像をYouTubeで公開	令和4年2月1日	—
17	Twitterで事業紹介とカウントダウン	関屋分水路事業をまとめた建設当時の記録映像を断片的に紹介、10日毎に投稿	令和4年2月1日	—
18	アルビレックス新潟ホームゲームイベントに出展	パネル展示、チラシ配布	令和4年3月5日	デンカビックスワン
19	関屋分水通水50周年記念堰カード 配布開始	通水50周年記念特別バージョンの施設カード（新潟大堰・信濃川水門）を配布	令和4年3月10日	新潟大堰
20	We are みなとまち海賊団に出展	パネル展示等	令和4年4月16日	ピアBandai
21	2022にいがたカナール彩に出展	パネル展示、チラシ配布	令和4年4月29日	鳥屋野潟スポーツ公園
22	信濃川感謝祭 やすらぎ堤川まつりに出展	地震体験装置による地震体験、パネル展示等	令和4年5月3日 ～5月5日	やすらぎ堤
23	花文字植栽（青山小学校区コミュニティ協議会）	関屋分水のシンボルマークを表現した花壇作成（関屋モリ上げ隊が参加）	令和4年5月28日	関屋分水（有明大橋左岸）
24	Twitterで「川下りカウントダウン」開始	通水50周年8月10日までの日数と信濃川の距離標の数字を合わせたカウントダウン	令和4年6月20日	—
25	みなとまち新潟 新潟まつりこども広場に出展	パネル展示等	令和4年7月16日	みなとびあ
26	海岸清掃	地域の方と協働した青山海岸の清掃活動	令和4年7月17日	青山海岸
27	地盤工学研究発表会に出展	技術展示	令和4年7月20日 ～7月22日	朱鷺メッセ
28	アルビレックス新潟ホームゲームイベントに出展	パネル展示等	令和4年7月23日	デンカビックスワン
29	新潟大堰・信濃川水門ライトアップ	新潟大堰・信濃川水門のライトアップ	令和4年7月31日 ～8月31日	新潟大堰・信濃川水門
30	関屋分水通水50周年記念セレモニー	50年前の通水式を再現	令和4年8月10日	関屋分水資料館前
31	せきぶん誕生祭	降雨・地震体験、信濃川VR体験、せきぶんお絵かき、関屋出張所・新潟大堰特別開放等	令和4年8月10日	関屋分水資料館周辺
32	せきぶんクイズラリー	10カ所に設置された出題ポイントでQRコードを読み取りクイズに参加	令和4年8月10日 ～8月31日	関屋分水・やすらぎ堤
33	新潟競馬場 関屋記念に出展	パネル展、デジタルサイネージによる動画放映	令和4年8月13日	新潟競馬場
34	せきぶん感謝祭	信濃川ウォーターシャトル特別運航、トイドローン飛行体験、はたらく車の展示・試乗等	令和4年8月27日	関屋分水資料館周辺・やすらぎ堤
35	せきぶん治水歴史ウォーク	関屋分水を歩きながら歴史や役割について学ぶ	令和4年8月27日	関屋分水資料館、関屋分水周辺
36	まちあるきイベント（プラニイガタ）	NPO法人まちづくり学校が開催するまちあるきイベントで関屋分水に焦点を合わせた町歩きを実施	令和4年9月17日	関屋分水資料館、関屋分水周辺
37	さんじょう消防・防災フェスタ2022に出展	地震体験装置による地震体験、パネル展示等	令和4年9月23日	三条防学習館
38	新潟県・田上町総合防災訓練に出展	降雨体験・パネル展示	令和4年10月23日	道の駅たがみ 他
39	パネル展示	パネル展示	令和4年10月28日	第四北越銀行関屋田町支店



# 04 ロゴマーク の使用例

川づくり・地域づくりを考える契機として、多くの人たちの川への意識醸成と一体感の醸成のため、大河津分水100周年記念ロゴマークの利用を推進しました。衣服や刊行物への使用をはじめとして掲出先は多岐に渡り、記念ロゴマーク入りのオリジナルグッズも作成・配布しました。また、屋外に掲出するのぼり旗・卓上に置くミニのぼり旗は自治体等へ配付。集客施設等へ掲出いただきました。



のぼり旗



ミニのぼり旗



記念撮影用フラッグ



大型フラッグ(白)



大型フラッグ(赤)



横断幕



レリーフ



マグネットシート



横田切れ公園看板



記者会見ボード



ボロシャツ(紺)



ボロシャツ(青)



ジャンパー(赤)



ジャンパー(青)



タオル



ヘルメット



マスク



たすき



封筒



名刺



## 5-4.ロゴマークの使用例



堰カード(新第二床固)



堰カード(大河津可動堰)



パンフレット



クオカード



記念きっぷ



記念切手



シール



手提げ袋



うちわ



缶バッジ



通水石



さくらの花びらおろし金



シェラカップ、スプーン



大河津分水 恵弁当



アメ



クッキー



チロルチョコ



リボン



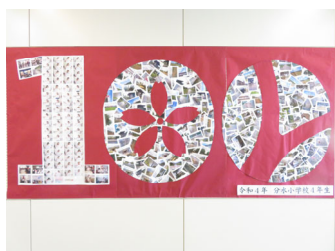
灯籠



栞



スタンプアート



モザイクアート



ちぎり絵



田んぼアート



# 05

## シンボルマークの使用例

関屋分水について知っていただく機会を増やすためのツールとして活用してきました。シンボルマーク入りのグッズも多種作成し、出前講座、施設見学、ブース出展等での配布や、「せきぶんクイズラリー」「Twitterの#せきぶんフォト企画」等の景品としても活用しました。施設カードは関屋分水資料館のみで配布し、訪れていただく際の楽しみにしていただきました。



のぼり旗



ミニのぼり旗



缶バッチ ステッカー

うちわ



パンフレット等



トートバッグ【職員がデザイン】



カラーコーン  
(施工業者の協力)



封筒



ヘルメット  
(施工業者の協力)



安全チョッキ  
(施工業者の協力)



フリクション3色ボールペン



フェイスタオル【職員がデザイン】



花文字花壇



施設カード【特別カラー】



車両用ステッカー (施工業者の協力)



工事現場看板 (施工業者の協力)



# 06 100周年 HP

大河津分水通水100周年記念事業HPでは大河津分水関連イベント情報の他、メッセージプロジェクトで撮影した写真や動画などを整理して発信しました。各種イベントの様子がわかるイベントレポートページ、6館リレー展や分水講演会、分水サミットなどのイベントをまとめたページなども新たに作成。100周年事業のアーカイブとしてご覧ください。



## リニューアル前



## リニューアル後



大河津分水通水100周年に先駆けて100周年記念事業HPをリニューアルしました。青系統だった旧サイトのイメージを一新し、テーマカラーには「通水レッド」(C=15、M=100、Y=90、K=10)を使用。大河津分水の空撮写真や記念ロゴなどを使用し、周年を盛り上げました。

100thHPへ  
<https://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/ohkouzu100th/ohkouzu100th.html>













---

大河津分水通水100周年・関屋分水通水50周年記念  
未来につながる事業 記録誌

令和6(2024)年3月29日 発行

国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所  
〒940-0098 新潟県長岡市信濃1-5-30  
TEL:0258-32-3020 E-mail:shinano@hrr.mlit.go.jp  
HP:<https://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/>

国土交通省北陸地方整備局信濃川下流河川事務所  
〒951-8153 新潟市中央区文京町14-13  
TEL:025-266-7131 E-mail:shinage@hrr.mlit.go.jp  
HP:<https://www.hrr.mlit.go.jp/shinage/>



大河津分水通水100周年・関屋分水通水50周年記念

# 未来につながる事業 記録誌

川でつながる 未来につなげる



大河津分水 通水100周年  
The Ohkousu Diversion Channel 100th Anniversary



関屋分水 通水50周年  
The Sekiya Diversion Channel 50th Anniversary